

第6回校内模擬[解答／解説]



問題 A		解答・解説
1	<p>内頭蓋底を構成する骨の写真(別冊 No. 1)を別に示す。 骨の名称はどれか。</p> <p>a 篩骨 b 蝶形骨 c 後頭骨 d 側頭骨</p> <p>▶keyword: 篩頭蓋、後頭骨、側頭骨、頭頂骨、前頭骨、蝶形骨、篩骨、涙骨、鼻骨、鼻骨、下鼻甲介、篩頭蓋、上顎骨、下顎骨、口蓋骨、顎骨、舌骨</p>	<p>解答: b</p> <p>頭蓋骨は脳髄や感覚器を入れる脳頭蓋(10種15個)と呼吸器や消化器の入り口を構成する顔面頭蓋(5種8個)からなる。脳頭蓋は後頭骨(無対)、側頭骨(有対)、頭頂骨(有対)、前頭骨(無対)、蝶形骨(無対)、篩骨(無対)、涙骨(有対)、鼻骨(有対)、鋤骨(無対)、下鼻甲介(有対)からなり、顔面頭蓋は上顎骨(有対)、下顎骨(無対)、口蓋骨(有対)、顎骨(有対)、舌骨(無対)からなる。各頭蓋骨の名称、数、頭蓋における位置および形状は基本であるので必ず理解しておこう。問題の骨は頭蓋の縫合をはずして分離した骨で、外形が羽を広げた蝶の姿に似ていることから、蝶形骨と名づけられている。</p> <p>a × b ○ c × d ×</p> <p>文献: 解剖学・組織発生学・口腔解剖学 181-195 歯科衛生士教本 解剖 14-28 歯科衛生士教本 口腔解剖 19-37</p>
2	<p>外頭蓋底の写真(別冊 No. 2)を別に示す。 矢印が示す孔を通るのはどれか。</p> <p>a 上顎神経 b 下顎神経 c 舌下神経 d 顔面神経</p> <p>▶keyword: 頭蓋底、卵円孔、棘孔、正円孔、上眼窩裂、下顎神経、上顎神経、眼神経</p>	<p>解答: b</p> <p>頭蓋底は前頭骨、篩骨、蝶形骨、側頭骨、後頭骨からなり、脳を取めている。外頭蓋底の中央部には頭蓋腔の内外を連絡する神経や血管の交通路となる重要な孔や管が多数存在する。写真は蝶形骨の大翼の基部で、翼状突起の根元部には矢印で示す卵円形の卵円孔(下顎神経が通る)が認められる。</p> <p>周囲にはその後方に小さな棘孔(中硬膜動脈と下顎神経の硬膜枝が通る)が、前方には翼口窩窩に向かう正円孔(上顎神経が通る)が、上方には眼窩に開く上眼窩裂(眼神経などが通る)がみられる。これらの三叉神経と関係する頭蓋底の孔の位置を理解しておこう。そのほか、顔面神経、舌下神経、内頸動脈、内頸静脈が頭蓋底を通過する部分も理解しておこう。</p> <p>a × b ○ c × d ×</p> <p>文献: 解剖学・組織発生学・口腔解剖学 181-195、216-226 歯科衛生士教本 解剖 14-28、146-154 歯科衛生士教本 口腔解剖 31-37、67-78</p>
3	<p>歯乳頭に由来するのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a エナメル質 b 象牙質 c 歯髄 d セメント質</p> <p>▶keyword: 歯胚、歯乳頭</p>	<p>解答: b、c</p> <p>歯はエナメル器、歯乳頭および歯小囊からなる歯胚から形成される。エナメル器からエナメル質が、エナメル器が変化した退縮エナメル上皮から歯小皮と歯肉の付着上皮が、歯乳頭から象牙質と歯髄が、歯小囊からセメント質、歯根膜、歯槽骨の一部が形成される。</p> <p>a × b ○ c ○ d ×</p> <p>文献: 解剖学・組織発生学・口腔解剖学 133-135</p>

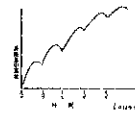
問題 A		解答・解説
4	骨口蓋の写真(別冊 No. 3)を別に示す。矢印で示すのはどれか。 a 上顎骨 b 頬骨 c 鼻骨 d 口蓋骨	解答: d 口蓋は口腔の天井であるとともに鼻腔の床をなす。前 2/3 は硬口蓋とよばれ、内部に上顎骨口蓋突起と口蓋骨水平板が支柱をなす。後ろ 1/3 は軟口蓋とよばれ、骨の支柱を欠き、おもに口蓋腱膜と口蓋筋によって構成される。 a × 上顎骨の口蓋突起が骨口蓋の前 2/3 を形成する。 b × 頬骨は上顎骨の外側にあり、口蓋とは関係がない。 c × 鼻骨は上顎骨の前上方にあり、口蓋とは関係がない。 d ○ 口蓋骨の水平板が骨口蓋の後ろ 1/3 を形成する。 文献: 解剖学・組織発生学・口腔解剖学 182-192
▶ keyword: 口蓋、上顎骨、口蓋骨		
5	神経と機能の組合せで正しいのはどれか。 a 三叉神経——表情筋の運動 b 顔面神経——顔面の知覚 c 舌咽神経——耳下腺の分泌 d 迷走神経——顎下腺の分泌	解答: c 12 対の脳神経のうち、口腔付近に分布するものは、三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経および舌下神経である。 a × 三叉神経は顔面の皮膚などの知覚および咀嚼筋と舌骨上筋(顎舌骨筋、顎二腹筋前腹)などの運動(下顎神経)を支配する。 b × 顔面神経は表情筋と舌骨上筋(茎突舌骨筋、顎二腹筋後腹)の運動、舌の舌根部の味覚および顎下腺、舌下腺などの分泌を支配する。 c ○ 舌咽神経は舌の後方部の知覚および味覚、耳下腺の分泌を支配する。 d × 迷走神経は主として胸部、腹部内臓に分布するが、頸部では咽頭と喉頭食道に分布する。 文献: 解剖学・組織発生学・口腔解剖学 216-229
▶ keyword: 脳神経		
6	エナメル質の顕微鏡写真(別冊 No. 4)を別に示す。矢印で示す成長線はどれか。 a エナメル小柱 b 横紋 c レチウス条(並行条) d シュレーゲル条	解答: c エナメル質にみられる構造には成長線とそうでないものがある。 a × エナメル小柱は有機質に富む小柱鞘で囲まれたヒドロキシアパタイトの結晶の束で、エナメル質の基本構造である。 b × 横紋はエナメル小柱の縦断線にみられる 3~5 μm 間隔の縞模様で、1 日周期の成長線である。 c ○ レチウス条(並行条)は、研磨標本でみられるほぼ 1 週間周期で形成される褐色の成長線である。 d × シュレーゲル条は、エナメル小柱の縦断帯と横断帯が交互に配列した縞模様である。 文献: 解剖学・組織発生学・口腔解剖学 136-141
▶ keyword: レチウス条、エナメル質		
7	歯髄にみられるのはどれか。2 つ選べ。 a 象牙芽細胞 b 線維芽細胞 c セメント芽細胞 d 骨芽細胞	解答: a, b a ○ 象牙芽細胞は象牙質を形成する細胞で、歯髄の表層に存在する。 b ○ 線維芽細胞は膠原線維を形成する細胞で、歯髄に多数存在する。 c × セメント芽細胞はセメント質を形成する細胞で、歯根の表面に存在し、歯髄にはみられない。 d × 骨芽細胞は骨を形成する細胞で骨の表面に存在し、歯髄にはみられない。 文献: 解剖学・組織発生学・口腔解剖学 147-151
▶ keyword: 歯髄、細胞		

問題 A		解答・解説
8	歯肉について正しいのはどれか。2 つ選べ。 a 外縁上、遊離歯肉、付着歯肉、歯肉乳頭に分けられる。 b 遊離歯肉にはスティッピングが多数みられる。 c 遊離歯肉と付着歯肉の上皮を合わせて内縁上皮という。 d 上皮は重層扁平上皮からなる。	解答: a, d 歯槽骨の周囲を覆う口腔粘膜を歯肉といい、歯槽骨および歯頸部の諸組織を保護している。 a ○ b × 付着歯肉の表面にはスティッピングという直径 0.1 mm ほどのへこみが多数存在しているが、遊離歯肉にはない。 c × 遊離歯肉と付着歯肉の上皮を合わせて外縁上皮という。内縁上皮は、付着上皮と歯肉潤上皮に分けられる。 d ○ 歯肉の上皮は部位によって厚さはさまざまであるが、重層扁平上皮から構成されている。 文献: 解剖学・組織発生学・口腔解剖学 158-161
▶ keyword: 歯肉		
生理学		
9	副交感神経の作用はどれか。 a 気管拡張 b 瞳孔収縮 c 心機能促進 d 胃液分泌抑制	解答: b 自律神経系における交感神経と副交感神経の作用は拮抗的であり、それぞれを理解しておく必要がある。 a × 副交感神経は気管を収縮させる。 b ○ c × 副交感神経は心機能を抑制する。また、交感神経作用により心機能は促進される。 d × 副交感神経は胃液分泌を促進する。 文献: 生理学 49-50 ポイントチェック① 94
▶ keyword: 自律神経作用、二重支配(交感神経、副交感神経)		
10	胃液から分泌されるのはどれか。 a 胃酸 b 酢酸 c 乳酸 d 塩酸	解答: d 胃液はそこに含まれる塩酸により、酸性に保たれている。 a × b × c × d ○ 塩酸には殺菌作用がある。また、ペプシンノーゲンペプシン(タンパク分解酵素)にする。 文献: 生理学 70-71 ポイントチェック① 98
▶ keyword: 胃内 pH、胃粘膜、塩酸(胃酸)		
11	血圧上昇作用を有するのはどれか。 a カルシトニン b インスリン c パソプレッシン d チロキシン	解答: c a × 甲状腺から分泌され、血中カルシウム濃度を低下させる。 b × 膵臓から分泌され、血糖値を低下させる。 c ○ 下垂体後葉から分泌され、抗利尿作用、血圧上昇作用をもつ。 d × 甲状腺から分泌され、代謝促進作用をもつ。 文献: 生理学 86-88 ポイントチェック① 105
▶ keyword: 血圧調節、抗利尿作用、パソプレッシン		

問題 A		解答・解説
12	<p>食行動調節中枢（視床下部）を刺激するのはどれか。</p> <p>a 血糖 b 体温 c 血圧 d 視覚</p> <p>▶keyword: 摂食中枢、満腹中枢</p>	<p>解答: a</p> <p>視床下部に存在する食行動調節中枢は血糖、血中遊離脂肪酸の濃度および胃壁の伸展という情報が刺激となり活動し、食行動を調節している。</p> <p>a ○ b × c × d ×</p> <p>文献: 生理学 58 ポイントチェック① 95</p>
13	<p>血液の細胞成分で無核なのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 単球 b 赤血球 c 血小板 d 好中球</p> <p>▶keyword: 赤血球、白血球、血小板</p>	<p>解答: b、c</p> <p>血球（細胞成分）の基本的な形態の特徴を問う問題である。血液については血球や血漿（液体成分）に含まれる成分を機能と結びつけて覚えることが必要である。</p> <p>a × 単球は、血液から組織液に入ると組織マクロファージになり、細菌を捕食する（食作用）。</p> <p>b ○ 赤血球は、核のない中央がくぼんだ円盤状の細胞である。酸素を運ぶほか、炭酸ガスを運搬したり、緩衝系の1つとしてpHを調節する。</p> <p>c ○ 血小板は、無核である。止血作用をあらわす。</p> <p>d × 好中球は白血球の1つであり、有核細胞である。好中球は炎症があると、その部位に遊走して細菌や異物をなかに取り込む（食作用）。</p> <p>文献: 生理学 14-21 ポイントチェック① 86-88</p>
14	<p>肺活量に含まれないのはどれか。</p> <p>a 残気量 b 1回換気量 c 予備吸気量 d 予備呼気量</p> <p>▶keyword: 肺気量の区分、肺活量</p>	<p>解答: a</p> <p>肺気量の測定は肺機能検査の1つで、通常、描出された曲線から肺気量の各区分（残気量を除く）を計測できる。その中で肺活量は、できるだけ息を吸ってから息を吐き出したときに吐き出される空気量で、1回換気量+予備吸気量+予備呼気量に相当する。</p> <p>a × 努力して息を吐き出しても、肺や気道には約1200mlのガスが残っている。これを残気量という。肺活量には含まれない。</p> <p>b ○ c ○ d ○</p> <p>文献: 生理学 29-36 ポイントチェック① 91</p>
15	<p>アルブミンの役割はどれか。</p> <p>a CO₂を運搬する。 b 免疫抗体となる。 c 血液凝固素材となる。 d 膠質浸透圧を維持する。</p> <p>▶keyword: 血漿タンパク質、アルブミン、膠質浸透圧</p>	<p>解答: d</p> <p>血液の液体成分（血漿）について、特にタンパク質（アルブミン、グロブリン、フィブリノーゲン）の働きについて問う問題である。血漿タンパク質とその機能は、重要な項目の1つである。</p> <p>a × CO₂は赤血球と血漿により輸送される。</p> <p>b × グロブリン（特にγグロブリン）が関係する。</p> <p>c × フィブリノーゲンが関係する。フィブリノーゲンは血液凝固因子である。</p> <p>d ○ 血漿タンパク質によりつくられる膠質浸透圧は、間質液から毛細血管内へと水分を引き込む駆動力となる。血漿タンパク質中アルブミンは分子量が最小で量が多く、膠質浸透圧の維持に大きく関与する。アルブミンの働きには、このほか循環血液量の維持やアミノ酸の供給などもある。</p> <p>文献: 生理学 14-21 ポイントチェック① 86-88</p>

問題 A		解答・解説
病理学		
16	<p>急性化膿性歯髄炎の特徴はどれか。</p> <p>a 膿瘍形成 b 膿瘍形成 c 肉芽形成 d 被膜形成</p> <p>▶keyword: 急性化膿性歯髄炎、膿瘍</p>	<p>解答: a</p> <p>急性化膿性歯髄炎では化膿性炎としての特徴がみられる。炎症変部では好中球の著明な浸潤、強い浮腫、強い充血などが生じ、膿汁が貯留して膿瘍の形をとる。</p> <p>a ○ 好中球の浸潤が著明で、膿瘍形成が認められる。</p> <p>b × 膿瘍はなく、潰瘍性病変は認められない。</p> <p>c × 急性炎症では肉芽形成は生じてもわずかである。</p> <p>d × 急性炎症では被膜形成は生じない。</p> <p>文献: 病理学 117</p>
17	<p>歯髄の退行性病変はどれか。</p> <p>(1) 象牙粒 (2) 骨様象牙質 (3) 網様萎縮 (4) 石灰変性</p> <p>a (1)、(2) b (1)、(4) c (2)、(3) d (3)、(4)</p> <p>▶keyword: 歯髄の病変、退行性病変</p>	<p>解答: d</p> <p>退行性病変は代謝が障害されることにより生じ、変性、萎縮、壊死に大別される。歯髄での退行性病変として網様萎縮、石灰変性などがあげられる</p> <p>(1) × 歯髄に形成される象牙質様の石灰化物質で、進行性病変に分類される。</p> <p>(2) × 咬耗などの刺激に反応して形成される象牙質で、進行性病変に分類される。</p> <p>(3) ○ 歯髄の退行性病変である。</p> <p>(4) ○ 歯髄の退行性病変である。</p> <p>文献: 病理学 104、120-121</p>
18	<p>非菌原性膿胞はどれか。</p> <p>a 粘液膿胞 b 歯根膿胞 c 含菌性膿胞 d 原始性膿胞</p> <p>▶keyword: 菌原性膿胞、非菌原性膿胞、粘液膿胞</p>	<p>解答: a</p> <p>病的空洞を膿胞といい、歯の形成に関与する組織に由来する菌原性膿胞と由来しない非菌原性膿胞とに分類される。</p> <p>a ○ 唾液の流出障害によって生じる非菌原性膿胞である。</p> <p>b × 尖鋭歯の根尖に生じる膿胞で、根尖性歯髄炎の歯根肉芽腫から進展してできる菌原性膿胞である。</p> <p>c × 歯冠の形成が終了した後に歯冠周囲に残存する過剰エナメル上皮から発生する膿胞で、その内腔に埋伏歯の歯冠を含んでいる菌原性膿胞である。</p> <p>d × 歯の硬組織形成前の歯胚のエナメル器が膿胞化することにより生じる菌原性膿胞で、膿胞内には埋伏歯が存在しない。</p> <p>文献: 病理学 168-170、173</p>
19	<p>腐敗菌の感染を伴うのはどれか。</p> <p>a 被包 b 乾性壞疽 c 乾酪壞疽 d 液化壞疽</p> <p>▶keyword: 壞疽、壞死、被包</p>	<p>解答: b</p> <p>壞疽とは壊死部が腐敗菌の感染によって二次的に変化したもので、乾性壞疽と湿性壞疽がある。</p> <p>a × 壊死部が大きい場合に、白血球やマクロファージによる貪食、融解、吸収、では処理しきれず、肉芽組織によって取り囲まれ、やがて線維性被膜によって包まれる現象を被包といい、体表に排出されることもある。</p> <p>b ○ 湿性壞疽は壊死部の水分が多く感染により液化融解して黒く悪臭を生じたもので、ガス産菌に感染したものをガス壞疽という。乾性壞疽は壊死部が乾燥しミイラ化したものをいう。</p> <p>c × 乾酪壞疽は結核病巣にみられる壊死で、組織が凝固壊死して壊死部が黄白色で乾燥したチーズ様になったものをいう。</p> <p>d × 液化壞疽は脳壊死ともいわれ、壊死組織がタンパク分解酵素により軟化融解したもので、膿瘍や膿瘍にみられる。</p> <p>文献: 病理学 29-30、34-37 ポイントチェック① 131、133-134</p>

問題 A		解答・解説	
20	<p>図は2つの歯根から形成された形態異常歯の断面を示す。正しいのはどれか。</p> <p>a 矮小歯 b 融合歯 c 癒着歯 d 歯内歯</p> 	<p>解答: b</p> <p>a × 矮小歯とは、歯の大きさが正常値よりも著しく小さいものをいう。</p> <p>b ○ 融合歯は2つの歯根が融合したもので、象牙質および互いの歯の歯髄が交通している。癒着する時期により歯冠から歯根までの癒着の度合いが異なる。癒着歯は乳歯に多い。双生歯と融合歯の鑑別は難しく歯数により判断する。</p> <p>c × 癒着歯は歯根が完成した2本の歯が、セメント質が肥厚することによってセメント質だけで結合しており、2本の歯の象牙質や歯髄は独立している。</p> <p>d × エックス線写真上で歯の中にもう1つ歯があるようにみえる着形歯で、深い舌側窩があり、歯冠のエナメル質と象牙質が歯髄腔に陥入したものである。上顎側切歯に多い。</p>	<p>keyword: 歯の形態異常、融合歯</p>
微生物学			
21	<p>おもに細胞性免疫に関わるのはどれか。</p> <p>a 抗原抗体反応 b 補体結合反応 c 即時型アレルギー反応 d 遅延型アレルギー反応</p>	<p>解答: d</p> <p>獲得免疫における反応について理解する。</p> <p>a × 抗体が関係するので、体液性免疫である。</p> <p>b × 抗体が関係するので、体液性免疫である。</p> <p>c × 抗体が関係するので、体液性免疫である。</p> <p>d ○ マクロファージなどが関与し、細胞性免疫が中心となる反応である。</p>	<p>keyword: 獲得免疫、体液性免疫、細胞性免疫</p>
22	<p>細菌のグラム染色性を決定するのはどれか。</p> <p>a 鞭毛 b 荚膜 c 細胞壁 d 芽胞</p>	<p>解答: c</p> <p>細菌の細胞壁構造とグラム染色の関係について理解する。</p> <p>a × グラム染色では染色・観察できない。</p> <p>b × グラム染色では染色できないが、菌体周囲が坂(透)けてみえる。</p> <p>c ○ グラム染色の陽性・陰性は細胞壁の構造によるものである。</p> <p>d × グラム染色では染色できないが、菌体内の芽胞は坂(透)けてみえる。</p>	<p>keyword: 細菌の構造、グラム染色</p>
23	<p>芽胞とウイルスの滅菌が可能な方法はどれか。</p> <p>a 100°Cの熱湯中で10分間の煮沸 b 孔径が0.45μmのフィルターによる濾過 c 70%エタノールによる拭拭 d 121°C、20分間のオートクレーブ処理</p>	<p>解答: d</p> <p>a × 煮沸消毒法は芽胞には無効である。またエイズウイルスの不活化には20~30分間の煮沸が必要である。</p> <p>b × ウイルスは細菌と比べて非常に小さく、孔径0.45μmのフィルターを簡単に通過してしまう。</p> <p>c × 芽胞には無効である。また、エンベロープをもたないウイルスに対しても無効である。</p> <p>d ○ ウイルスや芽胞を含め、すべての微生物を殺滅できる。ただし、クロイツフェルト・ヤコブ病や牛海綿状脳症(狂牛病)の病原体(病原タンパク)であるプリオンタンパクをオートクレーブで不活化させるには、132°C、1時間の処理が必要である。</p>	<p>keyword: 煮沸消毒、濾過滅菌、アルコール消毒、オートクレーブ、芽胞、ウイルス</p>

問題 A		解答・解説	
24	<p>無細胞人工培地で培養できるのはどれか。</p> <p>(1) 結核菌 (2) らい菌 (3) 梅毒スピロヘータ (4) カンジダ・アルビカンス</p> <p>a (1)、(2) b (1)、(4) c (2)、(3) d (3)、(4)</p>	<p>解答: b</p> <p>(1) ○ 卵黄、血清、グリセリンなどを添加した培地で好氣的に発育する。日本では小川培地が広く用いられる。増殖速度は遅く、コロニーの形成には小川培地などで2~4週間の増殖が必要である。</p> <p>(2) × ハンセン病(らい病)の原因菌で、結核菌と同じくマイコバクテリウム属の抗酸性桿菌であるが、人工培養はまだ成功していない。</p> <p>(3) × 梅毒スピロヘータ(梅毒トレポネーマ)は未だ人工培養が不可能で、ウサギの卵丸に接種し増殖させる方法が用いられている。</p> <p>(4) ○ 二形性真菌であり、サブロー寒天培地で酵母型、コーンミール寒天培地や血清培地では菌糸型をとる。</p>	<p>keyword: 抗酸菌、マイコバクテリウム、梅毒スピロヘータ、カンジダ、人工培地、二形性</p>
25	<p>インフルエンザウイルスについて正しいのはどれか。</p> <p>(1) A、B、Cの3型がある。 (2) 毎年流行するのはB型である。 (3) HAの抗原性は変化しない。 (4) HAを介して呼吸器粘膜上皮細胞のレセプターと結合する。</p> <p>a (1)、(2) b (1)、(4) c (2)、(3) d (3)、(4)</p>	<p>解答: b</p> <p>(1) ○ インフルエンザの病原体であるこのRNAウイルスにはA、B、Cの3つの型がある。</p> <p>(2) × 毎年中小規模に流行し、さらに約10年ごとに世界的大流行を起こすのはA型ウイルスである。B、C型は小規模または散发性である。</p> <p>(3) × エンベロープ表面のHAは、遺伝子の変異により毎年少しずつ抗原性が変化する。このため抗HA抗体の効果も年々減弱し、A型インフルエンザは毎年のように流行する。</p> <p>(4) ○ インフルエンザウイルスのHAと呼吸器粘膜上皮細胞表面のレセプター(シアル酸)との結合が感染成立の第一段階である。</p>	<p>keyword: インフルエンザウイルス、HA</p>
26	<p>図はある薬物を連続投与した場合の血中濃度の推移を示す。この図が示す薬物の作用はどれか。</p>  <p>a 相互作用 b 拮抗作用 c 協力作用 d 蓄積作用</p>	<p>解答: d</p> <p>図は、生物学的半減期の長い薬物を連続投与したときに生じる「蓄積作用」を示している。経時的な薬物の血中濃度の変化を示しているが、投薬の間隔が短いため、体内の薬物濃度の上昇が観察される。強心薬のジギタリスなど生物学的半減期の長い薬物は、この蓄積作用を考慮して投与されている。</p> <p>a × 2種類以上の薬物を併用したときに生じる作用。拮抗作用には化学的拮抗、機能的拮抗、競合的拮抗がある。</p> <p>b × 2種類以上の薬物を併用したときに生じる作用。拮抗作用には化学的拮抗、機能的拮抗、競合的拮抗がある。</p> <p>c × 2種類以上の薬物を併用したときに生じる作用。協力作用には相加作用、相乗作用がある。</p> <p>d ○</p>	<p>keyword: 蓄積作用、薬物血中濃度</p>
27	<p>経口投与が有効な血液凝固阻害薬はどれか。</p> <p>a ヘパリン b トロンピン c ワルファリン d フィブリノーゲン</p>	<p>解答: c</p> <p>血液凝固阻害薬(抗凝血薬)には、経口投与が可能なワルファリンと経口投与が無効なヘパリンがある。</p> <p>a × ヘパリンは抗トロンピン作用、抗トロンボプラスチン作用をもち、試験管内でも抗凝血作用があり、速効性である。</p> <p>b × トロンピンは局所性止血薬の1つである。</p> <p>c ○ クマリン誘導体のワルファリンは、肝臓においてプロトロンビンの合成阻害をして血液の凝固を阻止する。</p> <p>d × フィブリノーゲンは全身性止血薬の1つである。</p>	<p>keyword: 止血薬、抗凝血薬</p>

問題 A

解答・解説

薬理学

28 薬物と副作用の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a プロカイン———メトヘモグロビン血症
- b カナマイシン——再生不良性貧血
- c アスピリン———ライ症候群
- d ミノサイクリン——カンジダ症

【解答】c、d
メトヘモグロビン血症は、アミド型局所麻酔薬のプロカイン（プリロカイン）の大量使用により起こる。再生不良性貧血はクロラムフェニコル系抗生物質の副作用である。解熱鎮痛薬のアスピリンは、小児がウイルス性疾患に罹患しているときに投与すると「ライ症候群」を起こすことがある。テトラサイクリン系抗生物質であるミノサイクリンの副作用の1つに、菌交代現象として「カンジダ症」や「黒舌症」がある。

- a × エステル型局所麻酔薬のプロカインは、副作用としてアレルギー反応によるアナフィラキシーショックを起こすことがある。
- b × カナマイシンはアミドグリコシド系抗生物質であり、副作用としては難聴、腎障害がある。
- c ○ アスピリンの副作用であるライ症候群は、小児の全身性疾患で嘔吐、遊離、肝臓および脳障害を起こすことがある。
- d ○ テトラサイクリン系抗生物質の副作用として、菌交代現象、光線過敏症、歯や骨などの硬組織形成障害、歯の着色がある。

【文献】薬理学 61、92、114、120
ポイントチェック① 179、221

▶ keyword: メトヘモグロビン血症、ライ症候群、菌交代現象（菌交代症）

29 薬物の用量の区分で ED₅₀が含まれるのはどれか。

- a 無効量
- b 有効量
- c 中毒量
- d 致死量

【解答】b

薬物の用量は、薬理作用に影響する最も基本的な要因である。無効量、有効量、中毒量、致死量、最小有効量、最大有効量、最大耐量、ED₅₀および LD₅₀など用量を表す用語について整理しておくことが重要である。ED₅₀は50%有効量のことで有効量のなかに入る。また、LD₅₀は50%致死量のことで致死量のなかに入る。

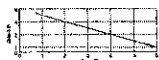
- a × 無効量は治療効果が現れない用量である。
- b ○ 有効量は中毒を起こさない範囲で治療効果があらわれる用量なので、50%有効量である ED₅₀はこの用量に含まれる。
- c × 中毒量は生体に障害を及ぼす用量である。
- d × 致死量は死亡例が認められる用量である。

【文献】薬理学 5-6
ポイントチェック① 200

▶ keyword: 薬用量、ED₅₀

30 図は薬物の血中濃度の時間推移を示す。この薬物の生物学的半減期はどれか。

- a 1時間
- b 2時間
- c 4時間
- d 6時間



【解答】b

投与された薬物はある時点（静脈注射では投与直後）で最高血中濃度に達する。その後、血中濃度はしだいに低下し、やがて消失する。血中濃度が低下していく場合、ある時点の濃度から半分濃度になるまでの時間を生物学的半減期という。生物学的半減期は排泄の遅い薬物で長く、排泄の早い薬物では短い。

- a ×
- b ○ 血中濃度は2時間から4時間または4時間から6時間までの2時間で半減している。
- c ×
- d ×

【文献】薬理学 14
ポイントチェック① 204

▶ keyword: 生物学的半減期、血中濃度

問題 A

解答・解説

口腔衛生学

31 唾液中に最も多く検出されるのはどれか。

- a 通性嫌気性グラム陰性桿菌
- b 通性嫌気性グラム陰性球菌
- c 偏性嫌気性グラム陰性桿菌
- d 偏性嫌気性グラム陰性球菌

【解答】b

口腔内にはおよそ300~500種類の細菌が存在している。唾液そのものは無菌であるが、口腔内に分泌されると同時に多くの細菌が混入することになる。

- a × 約2%の割合で存在する。
- b ○ 50%近い割合で存在する。
- c × 約5%の割合で存在する。
- d × 約13%の割合で存在する。

▶ keyword: 唾液、口腔細菌、グラム染色

【文献】口腔衛生学・歯科衛生統計 32

32 歯垢の成熟に伴って割合が増加するのはどれか。2つ選べ。

- a Streptococcus (ストレプトコッカス)
- b Actinomyces (アクチノマイセス)
- c Neisseria (ナイセリア)
- d Fusobacterium (フゾバクテリウム)

【解答】b、d

歯垢は、歯の表面に付着するおもに微生物からなる構造物である。歯垢内の細菌は多種類であるが、付着部位、成熟度等によって異なる。初期には好気性菌が優勢であるが、成熟するにつれ嫌気性菌が増加する。

- a × 成熟度に関係なく高い頻度で検出される。
- b ○ 通性嫌気性桿菌であり、歯垢の成熟に伴い増加する。
- c × 好気性であり歯垢の成熟とともに減少する。
- d ○ 嫌気性桿菌であり歯垢の成熟に伴い増加する。

▶ keyword: 歯垢、成熟、細菌

【文献】口腔衛生学・歯科衛生統計 35

33 歯周疾患の病原因子の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a グラム陰性球菌——エンドトキシン
- b Prevotella intermedia (プレボテラ・インターメディア)——ロイコトキシン
- c Porphyromonas gingivalis (ポロフィロモナス・ジンジバリス)——コラゲナーゼ
- d グラム陰性細菌——リポ多糖

【解答】c、d

歯周病原性細菌の病原因子として、①細菌の産生する毒素、②宿主への定着と生存を維持するための因子が知られている。

- a × エンドトキシンはグラム陰性桿菌が産生する。
- b × ロイコトキシンは、Actinobacillus actinomycescomitans (アクチノバシラス・アクチノミセテムコミタンス) が産生する。
- c ○
- d ○

【文献】口腔衛生学・歯科衛生統計 94-97
微生物学 132-139

▶ keyword: 歯周疾患、歯周病原性細菌、病原因子

34 不正咬合予防のため幼児期や児童期に考慮すべきことはどれか。2つ選べ。

- a 開食の指導
- b 人工乳の使用
- c 乳歯早期喪失の防止
- d 慢性鼻炎の治療

【解答】c、d

不正咬合の原因は複雑多岐であるが、①遺伝的な要因によるもの、②发育障害・歯の交換期錯乱・乳歯早期喪失・不良習癖などの環境要因によるものに大別される。遺伝的なものについての予防は困難であるが、後天的なものに対しては対応が可能である。

- a × おもに顎顔面予防のための指導である。
- b × 人工乳中のショ糖は齲蝕の原因となる。
- c ○ 乳歯が早期喪失した場合は、保嬰装置の装着が必要となる。
- d ○ 慢性鼻炎やアデノイドを原因とする口呼吸は、上顎前突や異常嚥下癖を誘発する。

▶ keyword: 不正咬合、予防

【文献】口腔衛生学・歯科衛生統計 101-106

問題 A		解答・解説
35	測定単位の異なるデータ間のばらつきの程度を比較するのに有用なのはどれか。 a 平均値 b 中央値 c 標準偏差 d 変異係数	解答: d 基本統計量には、データの中心的傾向を表す値（平均値、中央値、最頻値など）とデータのばらつきを表す値（標準偏差、分散、変異係数など）がある。 a × データの中心の位置を表す値である。 b × データを小さい値から順に並べたときの中央の値である。 c × データのばらつきを表す値であるが、測定単位の異なる場合は比較できない。 d ○
▶ keyword: 基本統計量、ばらつき、代表値		文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 206-208
36	保健所が実施する母子保健事業はどれか。 a 未熟児養育医療 b 乳幼児健康診査 c 妊産婦訪問指導 d 母子健康手帳交付	解答: a 住民に身近な基本的サービスは市町村が実施している。保健所はおもに市町村との連絡調整、指導、助言と専門的サービスの提供を行っている。 a ○ 母子保健法に基づき、保健所が実施する。 b × 市町村の事業である。 c × 市町村の事業である。 d × 市町村の事業である。
▶ keyword: 母子保健、保健所		文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 136-145
37	職業病の症状と原因の組合せで正しいのはどれか。 a 流涎—水銀 b 骨痛—カドミウム c 歯の齲蝕症—ヒ素 d 歯肉着色—フッ素	解答: a 口腔に症状を現す職業病は多い。歯またはその支持組織に有害なもの等を扱う労働者には、歯科医師による健康診断が実施される（労働安全衛生法）。 a ○ b × 骨痛はヒ素や黄リンの曝露で生じることがある。 c × 歯の齲蝕症は塩酸などの酸の曝露で生じることがある。カドミウム曝露については歯頸部黄色環（カドミウムリング）が知られている。 d × 歯肉の着色はフッ素と同じハロゲン族に属する臭素やヨウ素の曝露で生じることがある。フッ素曝露ではカタル性・濃瘍性口内炎が知られている。
▶ keyword: 産業保健、職業病		文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 161
38	図は CPI プローブによる診査時の状態を示す。評価コードはどれか。 a 1 b 2 c 3 d 4	解答: d 歯周疾患は歯周組織（歯肉、歯根膜、歯槽骨、セメント質）の病変に対する総称である。したがって、歯周疾患の指数はそれぞれ独自のねらいと表現方法をもっているが、CPI はなかでも再現性が高くなるように工夫されている。CPI プローブの目盛りの区分は (0.5)-3-2-3-3 mm となっている。図のポケットデプスは約 7.5 mm である。 a × コード 1 はポケットの深さが 3 mm 以内で、プロービングにより出血する。 b × コード 2 はポケットの深さが 3 mm 以内で、歯石が存在する。 c × コード 3 はポケットの深さが 4~5 mm である。 d ○ コード 4 はポケットの深さが 6 mm 以上である。
▶ keyword: CPI		文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 193-194

問題 A		解答・解説
39	フッ化物の齲蝕予防法への応用が始められるきっかけとなった Dean らの作成した図を示す。横軸の「ア」に該当するのはどれか。 a 歯磨剤 b 飲料水 c 食物 d 土壌	解答: b Dean らの歯のフッ素症調査により、飲料水中のフッ素濃度と齲蝕経験 (DMF) 歯数の逆相関が報告された。このことから飲料水中のフッ素濃度を適量にコントロールすることにより、歯のフッ素症を発生させずに齲蝕予防が可能になることが明らかにされ、齲蝕予防法へのフッ化物の応用が始められることとなった。 a × 歯磨剤中のフッ素濃度では歯のフッ素症にはならない。 b ○ c × 食物中のフッ素濃度が ppm 程度では歯のフッ素症にはならない。 d × 土壌中のフッ素濃度が直接人体に影響を及ぼすことは考えられない。
▶ keyword: フッ化物の応用		文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 74-75
40	図はフッ素の作用機序を示す。「ア」にあてはまらないのはどれか。 a フルオロアパタイトの生成 b 結晶性の向上 c 着色の促進 d 再石灰化の促進	解答: c フッ素の齲蝕予防機序は大別して、歯に対する作用と口腔内環境に対する作用の 2 つに分けられる。 a ○ b ○ c × フッ素により結晶性が高く潜伏したエナメル質になると考えられるので、むしろ着色しにくくなる。 d ○
▶ keyword: フッ素		文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 75-76
41	5 ml の唾液を 0.1N 乳酸で滴定し、pH7.0~6.0 にする乳酸量で判定する齲蝕活動性試験はどれか。 a Lactobacillus Colony Count b Snyder test c Dreizen test d 酸エッチング法	解答: c 齲蝕活動性試験はある時点における個人の齲蝕活動性を判定する方法である。齲蝕活動性には種々の要因が関与するため、多くの試験方法が考案されている。 a × 唾液を検体とし、唾液中の乳酸桿菌数を測定する試験である。 b × 唾液を検体とし、唾液中細菌の酸産生能を測定する試験である。 c ○ d × エナメル質を検体とし、エナメル質中のフッ素濃度の測定を行う試験である。
▶ keyword: Dreizen test		文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 60-61
42	歯磨剤の薬用成分として配合されているのはどれか。2つ選べ。 a ソルビトール c キシリトール c 塩化ナトリウム d モノフルオロリン酸ナトリウム	解答: c, d 歯磨剤は、歯ブラシとともに用いて口腔清掃の効果をあげるための補助的材料である。 a × 基本成分である保湿剤として配合されている。 b × 香味剤として配合されている。 c ○ 歯周疾患予防の薬用成分として配合されている。 d ○ 齲蝕予防の薬用成分として配合されている。
▶ keyword: 歯磨剤の成分		文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 44-45

問題 A		解答・解説								
43	<p>歯の形成に関連するビタミンの作用の表を示す。正しい組合せはどれか。</p> <table border="1"> <tr> <th>ビタミン</th> <th>歯の形成に関連する作用</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>カルシウムやリンの吸収・代謝に影響</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>エナメル質形成に影響</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>象牙質形成に影響</td> </tr> </table> <p> <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ a ビタミンA ビタミンC ビタミンD b ビタミンA ビタミンD ビタミンC c ビタミンD ビタミンA ビタミンC d ビタミンD ビタミンC ビタミンA </p> <p>▶ keyword: ビタミン</p>	ビタミン	歯の形成に関連する作用	①	カルシウムやリンの吸収・代謝に影響	②	エナメル質形成に影響	③	象牙質形成に影響	<p>解答: c</p> <p>歯・口の発育はバランスのとれた全身の発育なくしては考えられない。したがって、歯・口の発育のためだけに必要な栄養素というものはなく、全身の健康が歯・口の健康につながってくる。ビタミンAは外胚葉組織の機能保全に関与する。ビタミンCは中胚葉組織の機能保全に関与する。ビタミンDは不足すると腸におけるカルシウムの吸収阻害が起る。</p> <p>a × b × c ○ d ×</p> <p>文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 21-22 ポイントチェック② 5</p>
ビタミン	歯の形成に関連する作用									
①	カルシウムやリンの吸収・代謝に影響									
②	エナメル質形成に影響									
③	象牙質形成に影響									
44	<p>「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」について定義しているのはどれか。</p> <p>a オタワ憲章 b WHO 憲章 c ジュネーブ宣言 d アルマ・アタ宣言</p> <p>▶ keyword: オタワ憲章、ヘルスプロモーション</p>	<p>解答: a</p> <p>設問はヘルスプロモーションの定義で、地域保健活動の基本精神である。カナダのオタワで開催された国際会議で憲章が提出された。</p> <p>a ○ b × 健康を享受する権利が謳われている。 c × ヒポクラテスの誓いの現代版ともいわれている。医師の義務全般、病人に対する義務、医師相互間の義務などを定める。 d × プライマリーヘルスケアの重要性が謳われている。</p> <p>文献: 衛生学・公衆衛生学 4-5 ポイントチェック② 37</p>								
45	<p>老人保健法に基づいて歯科衛生士が居室を訪問して行う業務の名称はどれか。</p> <p>a 訪問指導 b 訪問看護 c 居室療養管理指導 d 訪問歯科衛生指導</p> <p>▶ keyword: 老人保健法</p>	<p>解答: a</p> <p>老人保健法は国民の老後における健康の保持と適切な医療の確保をはかるため、疾病の予防、治療、機能訓練などの保健事業を総合的に実施し、それによって国民の健康の向上および老人福祉の増進をはかることを目的としている。</p> <p>a ○ 栄養、運動、口腔衛生など家庭における療養方法に関する指導を行う。 b × 介護保険による。 c × 介護保険による。 d × 医療保険による。</p> <p>文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 120-121、170-172 ポイントチェック② 47</p>								
衛生学・公衆衛生学										
46	<p>健康日本 21 の基本理念と基本方針で正しいのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 乳児死亡の減少 b 平均寿命の延伸 c 一次予防の重視 d 健康づくり運動の目標設定</p> <p>▶ keyword: 健康日本 21</p>	<p>解答: c, d</p> <p>健康日本 21 (21 世紀における国民健康づくり運動) は 2010 年度を目標とした具体的な目標の提示などにより、壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸、生活の質の向上の実現を目的として、平成 12 年度から開始された。</p> <p>a × 壮年期死亡の減少を目指している。 b × 健康寿命の延伸を目指している。 c ○ 一次予防の重視は基本方針の 1 つである。 d ○ 健康づくり運動の目標設定とその評価は基本方針の 1 つである。</p> <p>文献: 衛生学・公衆衛生学 6-8、149-150</p>								

問題 A		解答・解説	
47	<p>図はわが国における年齢 3 区分別諸指数の推移を示す。</p> <p>老年化指数はどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶ keyword: 人口動態統計、高齢化、年齢 3 区分</p>	<p>解答: a</p> <p>年齢別人口構造をみる場合には、一般に年齢 3 区分別の指標が用いられる。すなわち、15 歳未満を年少人口、15 歳以上 65 歳未満を生産年齢人口、65 歳以上を老年人口とする。年少人口指数 = (年少人口/生産年齢人口) × 100、老年人口指数 = (老年人口/生産年齢人口) × 100、従属人口指数 = [(年少人口 + 老年人口)/生産年齢人口] × 100、老年化指数 = (老年人口/年少人口) × 100</p> <p>a ○ 老年化指数は増加の一途をたどっている。 b × 従属人口指数である。 c × 老年人口指数である。 d × 年少人口指数である。</p> <p>文献: 衛生学・公衆衛生学 17-18</p>	
48	<p>温熱環境を測定する器具 (別冊 No. 5) を別に示す。</p> <p>名称はどれか。</p> <p>a カタ寒暖計 b 黒球寒暖計 c アウグスト乾湿計 d アスマン通風乾湿計</p> <p>▶ keyword: 温熱環境、温熱因子</p>	<p>解答: a</p> <p>人体に温熱感を与える因子は、おもに気温、気湿、気流、輻射熱である。これらは温熱因子とよばれており、測定には専用の器具が用いられる。</p> <p>a ○ 空気の冷却力や室内の微気流の測定に用いられる。 b × 輻射熱の測定に用いられる。 c × 気温、気湿の測定に用いられる。 d × 気温、気湿の測定に用いられる。</p> <p>文献: 衛生学・公衆衛生学 34、35</p>	
49	<p>急速濾過法による浄水過程の一部を示す。</p> <p>①はどれか。</p> <p>a 普通沈殿 b 薬品沈殿 c 汚泥凝縮 d エアレーション</p> <p>▶ keyword: 飲料水、浄水法、急速濾過法</p>	<p>解答: b</p> <p>わが国で広く用いられている浄水法は急速濾過法である。本法の特徴は薬品沈殿が行われることである。</p> <p>a × 緩速濾過法で用いられる。 b ○ 薬品としては硫酸アルミニウム (硫酸ばん士) などが用いられる。 c × 下水処理法である活性汚泥法の一過程である。 d × 下水処理法である活性汚泥法の一過程である。</p> <p>文献: 衛生学・公衆衛生学 37、38</p>	
50	<p>廃棄物について正しいのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 一般廃棄物の処理は各家庭の責任で行う。 b 産業廃棄物の処理は都道府県の責任で行う。 c 使用済みの注射針は産業廃棄物である。 d 感染性廃棄物の分別は発生時点において行う。</p> <p>▶ keyword: 一般廃棄物、産業廃棄物、感染性廃棄物</p>	<p>解答: c, d</p> <p>廃棄物の分類および処理法については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」などで定められている。</p> <p>a × 一般廃棄物の処理責任者は市町村である。 b × 産業廃棄物の処理責任者は排出事業者である。 c ○ 使用済み注射針は産業廃棄物の中の特別管理産業廃棄物に分類される。 d ○ 感染性廃棄物は発生時点で分別し、他の廃棄物と混ぜないように注意する。</p> <p>文献: 衛生学・公衆衛生学 42-44</p>	

	問題 A	解答・解説										
51	<p>コホート研究について正しいのはどれか。</p> <p>a 縦断研究である。 b 記述疫学に分類される。 c 二重盲検が用いられる。 d 発生頻度の低い疾病に適している。</p> <p>▷ keyword : 疫学、記述疫学、分析疫学、コホート研究</p>	<p>解答 : a</p> <p>記述疫学は疾病の発生要因に関する仮説を立てることを目的としている。その仮説の検証を目的としているのが分析疫学である。分析疫学は横断研究と縦断研究に分類される。縦断研究には患者対照研究やコホート研究がある。</p> <p>a ○ コホート研究は原因因子への曝露の有無と疾病発生との関連について、時間的経過を考慮しながら検討する。 b × 分析疫学に分類される。 c × 二重盲検は介入研究で用いられる。 d × この方法は対象者を膨大な数設定しなければならないので、発生頻度の少ない疾病や異常では事実上調査は行えない。</p> <p>文献 : 衛生学・公衆衛生学 57-62</p>										
52	<p>わが国における平成 16 年のコレラ、細菌性赤痢、日本脳炎およびインフルエンザ患者報告数を表に示す。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">感染症名</th> <th style="width: 50%;">患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">85</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">590</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">④</td> <td style="text-align: center;">769,272</td> </tr> </tbody> </table> <p>コレラはどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▷ keyword : 感染症、感染症発症動向調査</p>	感染症名	患者数	①	5	②	85	③	590	④	769,272	<p>解答 : b</p> <p>感染症の発生状況は厚生労働省が実施する「感染症発症動向調査」により把握することができる。わが国における感染症の発生は大幅に減少したが、新興感染症や再興感染症など新たな課題がもたげられている。</p> <p>a × 日本脳炎の患者数である。 b ○ 近年の患者数は 2 桁台で推移している。 c × 細菌性赤痢の患者数である。 d × インフルエンザの患者数である。</p> <p>文献 : 衛生学・公衆衛生学 77、78</p>
感染症名	患者数											
①	5											
②	85											
③	590											
④	769,272											
53	<p>わが国における食中毒の疫学で正しいのはどれか。</p> <p>a 病因物質が不明な事件のほうが多い。 b 原因施設は旅館が最も多い。 c 病因物質は植物毒が最も多い。 d 複合調理食品によるものが増加している。</p> <p>▷ keyword : 食中毒、疫学</p>	<p>解答 : d</p> <p>食中毒の発生状況については、食中毒統計調査の結果から把握することができる。</p> <p>a × 大多数は病因物質が判明する。 b × 飲食店、家庭、旅館の順に多い。 c × 細菌によるものが最も多い。 d ○</p> <p>文献 : 衛生学・公衆衛生学 91-95 ポイントチェック② 75</p>										

	問題 A	解答・解説								
54	<p>わが国の母子保健統計について正しいのはどれか。</p> <p>a 周産期死亡とは妊娠 20 週以後の死産をいう。 b 新生児死亡とは生後 1 歳未満の死亡をいう。 c 乳児死亡原因の第 1 位は不慮の事故である。 d 妊産婦死亡率は低下傾向にある。</p> <p>▷ keyword : 母子保健水準、母子保健統計</p>	<p>解答 : d</p> <p>わが国の母子保健の水準は世界的にも高水準にあるが、妊産婦死亡率については先進国の中でも未だやや高い。</p> <p>a × 妊娠 22 週以後の死産と生後 1 週未満の早期新生児死亡を合わせたものを周産期死亡という。 b × 生後 1 歳未満の死亡を乳児死亡、4 週未満の死亡を新生児死亡という。 c × 乳児死亡の原因で最も多いのは、「先天奇形、変形及び染色体異常」である。 d ○ 妊産婦死亡率は低下しているが、先進国に比べると未だ高率である。</p> <p>文献 : 衛生学・公衆衛生学 110-115</p>								
55	<p>表は地域保健活動の進め方を示したものである。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">第 1 段階</th> <th style="width: 25%;">第 2 段階</th> <th style="width: 25%;">第 3 段階</th> <th style="width: 25%;">第 4 段階</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">地域における健康問題の把握</td> <td style="text-align: center;">問題分析と活動の決定</td> <td style="text-align: center;">活動計画と活動の実施</td> <td style="text-align: center;">活動の評価</td> </tr> </tbody> </table> <p>表中の第 4 段階の指標となるのはどれか。</p> <p>a 経済効果 b 健康教育 c 訪問指導 d 住民のニーズ</p> <p>▷ keyword : 地域保健、地域保健活動</p>	第 1 段階	第 2 段階	第 3 段階	第 4 段階	地域における健康問題の把握	問題分析と活動の決定	活動計画と活動の実施	活動の評価	<p>解答 : a</p> <p>地域保健活動は、地域における健康問題の把握から始まって活動の評価にいたるまで、計画的かつ系統的に実施されることが重要である。</p> <p>a ○ そのほか活動の評価項目には、到達度、健康水準の変化、計画の妥当性などを含む。 b × 第 3 段階の内容である。 c × 第 3 段階の内容である。 d × 第 2 段階の内容である。</p> <p>文献 : 衛生学・公衆衛生学 105-109</p>
第 1 段階	第 2 段階	第 3 段階	第 4 段階							
地域における健康問題の把握	問題分析と活動の決定	活動計画と活動の実施	活動の評価							
56	<p>学校保健法に基づく就学時健康診断について正しいのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 幼稚園児は免除される。 b 結核は必須検査項目である。 c 就学の 4 か月前までに実施する。 d 該当する者には特殊教育学校への就学を指導する。</p> <p>▷ keyword : 地域保健、地域保健活動</p>	<p>解答 : c、d</p> <p>就学時健康診断の実施については学校保健法で規定されている。</p> <p>a × 対象は翌年小学校に入学する者である。 b × 検査項目に含まれていない。 c ○ d ○</p> <p>文献 : 衛生学・公衆衛生学 131</p>								

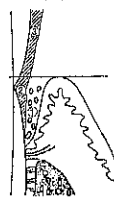
問題 A		解答・解説	
57	<p>医療法について正しいのはどれか。</p> <p>a 医療提供の理念を規定した法律である。</p> <p>b 歯科治療ユニットを20台以上有する施設を病院という。</p> <p>c 歯科ではインプラント科が広告標榜できる。</p> <p>d 歯科衛生士は歯科診療所の管理者になれる。</p>	<p>解答: a</p> <p>医療法は、医療提供の理念、医療施設や人的構成などについて規定している。</p> <p>a ○ 医療法第1条の2に「医療提供の理念」が規定されている。</p> <p>b × 病院とは医師または歯科医師が医療または歯科医療を行う場所であり、患者20人以上を入院させる施設(病床)を有するものをいう。</p> <p>c × 歯科医療で広告標榜できる診療科目名は、歯科、矯正歯科、小児歯科および歯科口腔外科の4科のみである。</p> <p>d × 歯科診療所の管理者は歯科医師でなければならない。</p>	<p>文献: 衛生行政・社会福祉 42-46</p>
▶ keyword: 医療法			
58	<p>社会保険について誤っているのはどれか。</p> <p>a 通勤途中での災害は労働者災害補償保険の対象である。</p> <p>b 共済組合には雇用保険が含まれる。</p> <p>c 保険料は所得に応じて決定される。</p> <p>d 自営業者は国民健康保険に加入する。</p>	<p>解答: b</p> <p>社会保険には医療保険、年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険、老人保健、介護保険がある。</p> <p>a ○ 雇われている人のための社会保険のうち労働者災害補償保険は、業務上および通勤時の傷病、障害または死亡に対する補償として「労働者災害補償保険法」により施行されている。</p> <p>b × 特殊職域の労働者のうち公務員および私立学校教職員は各種共済組合に加入することになっており、医療保険および年金保険は各共済組合法により、各共済組合に含まれるが、雇用保険は含まれない。</p> <p>c ○ 民間保険の場合、掛け金は任意で変化するが、社会保険は国が関与し、所得に応じて保険料が自動的に決まる。</p> <p>d ○ 医療保険のうち、健康保険法による政府管掌健康保険および組合管掌健康保険は一般労働者が加入する「職域保険」である。自営業者は一般住民が加入する「地域保険」である国民健康保険に加入する。</p>	<p>文献: 衛生行政・社会福祉 55-61、68-69</p>
▶ keyword: 社会保険制度			
59	<p>老人保健法に基づく保健事業はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 口臭の測定</p> <p>b 歯周疾患検診</p> <p>c 身体障害者手帳の交付</p> <p>d 介護家族健康相談</p>	<p>解答: b, d</p> <p>老人保健法に基づく保健事業には、①健康手帳の交付、②健康教育、③健康相談、④健康診査、⑤医療等、⑥機能訓練、⑦訪問指導がある。</p> <p>a ×</p> <p>b ○ 問診と歯周組織検査が行われる。</p> <p>c × 健康手帳が交付される。</p> <p>d ○ 健康相談には重点健康相談、総合健康相談と介護家族健康相談がある。</p>	<p>文献: 衛生行政・社会福祉 98-101</p>
▶ keyword: 老人保健法、保健事業			
60	<p>診療種類別にみた国民医療費を図に示す。歯科診療医療費はどれか。</p> <p>a ①</p> <p>b ②</p> <p>c ③</p> <p>d ④</p>	<p>解答: d</p> <p>国民医療費は医療機関などにおいて治療に要した費用の総計である。診療報酬額、調剤報酬額、入院時食事療養費、老人初回看護療養費などが含まれる。</p> <p>a × 国民医療費である。</p> <p>b × 一般医療費である。</p> <p>c × 入院医療費である。</p> <p>d ○</p>	<p>文献: 衛生行政・社会福祉 110-119 国民衛生の動向 2005年(厚生統計協会) 214</p>
▶ keyword: 国民医療費			

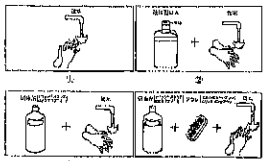
問題 A		解答・解説	
栄養指導			
61	<p>正しい組合せはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 貯蔵タンパク質—フェリチン</p> <p>b 構造タンパク質—ヘモグロビン</p> <p>c 酵素タンパク質—コラゲナーゼ</p> <p>d 取縮タンパク質—血清アルブミン</p>	<p>解答: a, c</p> <p>タンパク質は生体内における役割により分類される。</p> <p>a ○ 貯蔵タンパク質にはフェリチンや卵白アルブミンなどがある。</p> <p>b × 構造タンパク質にはケラチン、エラスチン、コラーゲンなどがある。ヘモグロビンは運搬タンパク質である。</p> <p>c ○ コラゲナーゼはコラーゲンを分解するタンパク質分解酵素である。</p> <p>d × 取縮タンパク質にはアクチンやミオシンなどがある。血清アルブミンは運搬タンパク質である。</p>	<p>文献: 栄養指導・生化学 188</p>
▶ keyword: 貯蔵タンパク質、構造タンパク質、酵素タンパク質、取縮タンパク質			
62	<p>加水分解によりグルコースを生成するのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a マルトース</p> <p>b アスパルテーム</p> <p>c パラチノース</p> <p>d レバン</p>	<p>解答: a, c</p> <p>a ○ マルトース(麦芽糖)はグルコース(ブドウ糖)が2つ結合した二糖類である。</p> <p>b × アスパルテームはフェニルアラニンとアスパラギン酸からなるペプチドである。</p> <p>c ○ パラチノースはグルコース(ブドウ糖)とフルクトース(果糖)が結合したスクロース(ショ糖)の異性体である。</p> <p>d × レバン(ポリフルクタン)はフルクトース(果糖)が多数結合した菌体多糖類である。</p>	<p>文献: 栄養指導・生化学 49-50、104</p>
▶ keyword: マルトース、アスパルテーム、パラチノース、レバン			
63	<p>基礎代謝量について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 精神的緊張時は高くなる。</p> <p>b 同体重であれば男女間で差はない。</p> <p>c 甲状腺機能が亢進すると高くなる。</p> <p>d 睡眠時のエネルギー代謝量の1.5倍である。</p>	<p>解答: a, c</p> <p>基礎代謝量とは生命の維持のために必要な最少限のエネルギー量をいうが、年齢、性、体格、体温、栄養状態、妊娠、ホルモンなどによって影響される。</p> <p>a ○ 精神的緊張時はエピネフリンの分泌が促進され、基礎代謝量も高くなる。</p> <p>b × 同体重では女性のほうが男性より6~10%低い。</p> <p>c ○ 甲状腺機能が亢進するとチロキシンの分泌が高まり、基礎代謝量も高くなる。</p> <p>d × 基礎代謝量は睡眠時のエネルギー代謝量に等しい。</p>	<p>文献: 栄養指導・生化学 26-27</p>
▶ keyword: 基礎代謝量			
64	<p>図は食事バランスガイドを示す。主菜はどれか。</p> <p>a ①</p> <p>b ②</p> <p>c ③</p> <p>d ④</p>	<p>解答: c</p> <p>平成12年に策定された「食生活指針」を具体的な行動に結びつけるために、「何を」、「どれだけ」食べたらいかにについて、食事の冠ましい組合せやおよその量をわかりやすくイラストで示したものが「食事バランスガイド」である。イラストの形状はコマをイメージし、食事のバランスが悪くなると倒れてしまうことを表している。コマの上部から、十分な摂取が望まれる主食(ご飯、パン、麺)、副菜(野菜、きのこ、いも、海藻)、主菜(肉、魚、卵、大豆)の順に並び、牛乳・乳製品と果物を並列に表している。</p> <p>a × 主食を示す。</p> <p>b × 副菜を示す。</p> <p>c ○</p> <p>d × 果物または牛乳・乳製品を示す。</p>	<p>文献: 栄養指導・生化学 150</p>
▶ keyword: 食事バランスガイド			

問題 A		解答・解説
65	正しい組合せはどれか。2つ選べ。 a タンパク質の過剰——クワシオルコール b ビタミン B ₁₂ の不足——悪性貧血 c ヨウ素の不足——甲状腺腫 d ビタミン Aの不足——脚気	解答 ：b、c 栄養素の過剰症と欠乏症に関する組合せ問題である。 a × タンパク質が欠乏すると成長の遅れ、貧血、細菌抵抗力の低下などが起こり、過剰摂取では尿中カルシウム排泄量増加、便秘などを引き起こす。クワシオルコールとはタンパク質欠乏症の病名である。 b ○ ビタミン B ₁₂ はシアノコバラミンともよばれ、抗悪性貧血因子として発見された。 c ○ ヨウ素は甲状腺ホルモンであるチロキシンの構成成分で、不足すると甲状腺腫が起きる。 d × ビタミン Aの欠乏症は夜盲症などである。脚気はビタミン B ₁ の欠乏によって起きる。 文献 ：栄養指導・生化学 59、66、77 ポイントチェック② 126、131
66	正しい組合せはどれか。2つ選べ。 a アドレナリン——血糖値上昇作用 b チロキシン——基礎代謝量上昇作用 c カルシトニン——血清カルシウム濃度上昇作用 d グルカゴン——血圧上昇作用	解答 ：a、b ホルモンとその生理作用を問う問題である。 a ○ アドレナリンは副腎髄質で合成され、血糖値を上昇させる。 b ○ チロキシンは甲状腺で合成され、基礎代謝量を上昇させる。また、血糖値上昇作用も有する。 c × カルシトニンは甲状腺で合成され、血清カルシウム濃度を低下させる。 d × グルカゴンは膵臓ランゲルハンス島 A 細胞で合成され、血糖値を上昇させる。 文献 ：栄養指導・生化学 27、177-178、224
67	スクロースに作用する酵素はどれか。2つ選べ。 a インベルターゼ b ノイラミナーゼ c エンテロキナーゼ d グルコシルトランスフェラーゼ	解答 ：a、d a ○ インベルターゼはスクロースに作用し、フルクトースとグルコースに分解する。 b × ノイラミナーゼは糖タンパク質の糖鎖末端にあるシアル酸を切断する。 c × エンテロキナーゼはトリプシノーゲンをトリプシンに活性化する。 d ○ グルコシルトランスフェラーゼはスクロースに作用し、不溶性グルカン（ムタン）をつくる。 文献 ：栄養指導・生化学 167、238、241
68	正しいのはどれか。 (1) 細胞膜には糖タンパク質が含まれる。 (2) リソソームは細胞分裂に関与する。 (3) ミトコンドリアは核酸の合成に関与する。 (4) 滑面小胞体は脂質の合成に関与する。 a(1)、(2) b(1)、(4) c(2)、(3) d(3)、(4)	解答 ：b (1) ○ 細胞膜は細胞外部との境界をつくる脂質二重層で、糖鎖をもつ糖タンパク質が部分的に埋め込まれている。細胞への物質の出入りを能動輸送により調節している。 (2) × リソソームは各種加水分解酵素を含む粒子で、異物や必要なくなった細胞成分の消化、分解を行う。 (3) × ミトコンドリアは内膜、外膜の二重膜からなる。ひだ状に伸びた内膜であるクリステでは ATP 生成に関与する酵素が存在し、組織呼吸、すなわち酵素による酸化反応により ATP を産生する。内膜に囲まれたマトリックスには TCA 回路に関与する酵素が存在する。 (4) ○ 小胞体は一重膜からなり、扁平な袋や管が多数つながった複雑な構造である。膜表面にリボソームが付着した粗面小胞体はおもにタンパク質の合成に、リボソームの付着していない滑らかな小胞体は主に脂質の合成に関与する。 文献 ：栄養指導・生化学 153-157

問題 A		解答・解説
69	タンパク質合成について誤っているのはどれか。 a 20種類のアミノ酸が必要である。 b エネルギー源として ATP を必要とする。 c 遺伝情報の核外への伝達は t-RNA が行う。 d 合成はリボソームで行われる。	解答 ：c a ○ タンパク質は 20 種類のアミノ酸から構成されている。タンパク質合成はこれらのうち 1 つのアミノ酸が欠如すると進行しない。 b ○ タンパク質合成のエネルギー源として ATP や GTP を必要とする。 c × DNA の遺伝情報は転写、すなわち mRNA 合成を通してタンパク質へ翻訳される。したがって遺伝情報の伝達は mRNA が行う。 d ○ タンパク質は小胞体に付着したリボソームで合成される。 文献 ：栄養指導・生化学 155-156、189-190
70	正しい組合せはどれか。 (1) ビタミン B ₁ ——脂肪酸の代謝 (2) ビタミン B ₂ ——タンパク質の代謝 (3) ナイアシン——アミノ酸の代謝 (4) 葉酸——コラーゲンの合成 a(1)、(2) b(1)、(4) c(2)、(3) d(3)、(4)	解答 ：c (1) × 糖質代謝を円滑にする働きをしている。欠乏すると下痢のむくみ、食欲不振、易疲労性、手足のしびれ、運動麻痺がみられる。 (2) ○ 糖質、脂質、タンパク質の代謝を円滑にする補酵素として働く。欠乏すると口角炎、口唇炎、皮膚炎、成長阻害を起こす。 (3) ○ 糖質、脂質、アミノ酸などの代謝を円滑にする補酵素として働く。欠乏するとペラグラとよばれる皮膚症状が体の左右対称に現れる。 (4) × 正常な造血作用、成長、妊娠の維持に必要である。妊娠中に欠乏すると胎児の神経管発育不全が起こる。コラーゲンの合成にはビタミン C が関与する。 文献 ：栄養指導・生化学 67
歯科予防処置		
71	ブラークの増加因子でないのはどれか。 a ルートトランクが長い。 b 上唇小帯が高位に付着している。 c 補綴物にアンダーカットがある。 d 付着歯肉幅が狭い。	解答 ：a a × ブラーク増加因子の直接的原因ではない。 b ○ 小帯の付着位置が歯肉辺縁に近いとき、ブラッシングが困難となりブラーク停滞の原因となる。 c ○ ブラークの付着は補綴物のアンダーカット部で著しい。 d ○ 付着歯肉幅が狭いとブラッシング時に歯ブラシの毛先が口腔粘膜にあたり、痛くて十分に磨けない。 文献 ：歯周治療学 67-69
72	誤っている組合せはどれか。 a 楔状欠損——歯の尖鋭欠損 b 付着歯肉——角化上皮 c コル——非角化上皮 d 遊離歯肉——スティッピング	解答 ：d a ○ b ○ c ○ d × スティッピングは健康な付着歯肉にみられる。 文献 ：歯科予防処置 19-20、 歯周治療学 10-14

問題 A	解答・解説
<p>73 アタッチメントレベルの説明について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a セメント-エナメル境からポケット底までの距離である。</p> <p>b 歯肉辺縁からポケット底までの距離である。</p> <p>c 歯周組織の破壊程度を表す指標となる。</p> <p>d ブローピングデプスと一致する。</p>	<p>解答 : a, c</p> <p>アタッチメントレベルとは上皮付着の位置(ポケット底)を表し、セメント-エナメル境を基準とする。</p> <p>a○ アタッチメントレベルはセメント-エナメル境を基準とする。</p> <p>b× ブローピングデプスの説明である。</p> <p>c○ アタッチメントレベルが下がりアタッチメントロスが増加することは上皮付着の位置が根尖側に移動したことを表し、歯槽骨の吸収、歯根膜の破壊を意味する。</p> <p>d× アタッチメントレベルとブローピングデプスは一致しない。</p> <p>文献 : ポイントチェック⑤ 6</p> <p>▶ keyword : アタッチメントレベル、セメント-エナメル境</p>
<p>74 〇に入る語句の組合せで正しいのはどれか。</p> <p>①はブラッシングで除去できる。</p> <p>②はジェット水流器で除去できる。</p> <p>③は歯面から除去しても数分後には付着する。</p> <p>① ② ③</p> <p>a 歯垢 食物残渣 色素性沈着物</p> <p>b 食物残渣 歯垢 ベリクル</p> <p>c ベリクル 歯石 歯垢</p> <p>d 歯垢 食物残渣 ベリクル</p>	<p>解答 : d</p> <p>歯面の付着物には、ベリクル、歯垢、歯石、食物残渣、色素性沈着物がある。このうち、ジェット水流による口腔洗浄器で除去できるのは、食物残渣だけである。</p> <p>a× 色素性沈着物は機械的歯面清掃や歯面研磨などによって除去できるが、その後容易に付着することはない。</p> <p>b× 食物残渣はブラッシングでも除去できるが、歯垢はジェット水流で除去できない。</p> <p>c× 歯石はジェット水流では除去できない。</p> <p>d○ ベリクルは、除去しても数分後には唾液の糖タンパクがエナメル質に吸着し被膜を形成する。</p> <p>文献 : 歯科予防処置 15-28 口腔衛生学・歯科衛生統計 31-49 ポイントチェック⑥ 4-23</p> <p>▶ keyword : 歯の沈着物・付着物</p>
<p>75 歯石に関する記述で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 主成分はリン酸カルシウムの結晶体である。</p> <p>b 歯肉の咬合面の小窩裂溝部には沈着しない。</p> <p>c 歯石の沈着は一定の速度で進行する。</p> <p>d 歯石表面には歯垢が付着しやすい。</p>	<p>解答 : a, d</p> <p>歯石は歯垢に唾液の無機成分が沈着して形成される。唾液の石灰化成分とは、主にカルシウムとリン酸であり、それが沈着した歯石はリン酸カルシウムを主成分とする。</p> <p>a○ 歯石の主成分はリン酸カルシウムであり、その他にリン酸マグネシウムや炭酸カルシウムなどである。</p> <p>b× 歯肉の咬合面の小窩裂溝部にも沈着する。</p> <p>c× 歯石の形成にはさまざまな要因が関与する。個人差や部位、また口腔衛生状態などにより沈着の速度は異なる。</p> <p>d○ 歯石の表面は粗糙であり、歯垢が付着している。</p> <p>文献 : 口腔衛生学・歯科衛生統計 36-39 歯科予防処置 21-28 ポイントチェック⑥ 4-5</p> <p>▶ keyword : 歯石</p>

問題 A	解答・解説
<p>76 図はブラークの付着を示す。</p>  <p>正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ①は非付着性ブラークである。</p> <p>b ②は付着性ブラークである。</p> <p>c ②は歯周病変の進行に深く関わっている。</p> <p>d ③は唾液腺開口部に付着しやすい。</p>	<p>解答 : a, b</p> <p>ブラークは口腔内細菌とその産生物からなり、歯肉辺縁より歯冠側に存在する歯肉縁上ブラークと歯肉辺縁よりポケット内に存在する歯肉縁下ブラークとに分けられる。歯肉縁下ブラークはさらに歯根面に付着する付着性ブラークと付着性ブラークの上やポケット内に浮遊している非付着性ブラークに分けられる。</p> <p>a○ ポケット内に浮遊している非付着性ブラークである。</p> <p>b○ ポケット内に存在し、歯根面に付着している付着性ブラークである。</p> <p>c× 歯周病変の進行に深く関わるのは非付着性ブラークである。</p> <p>d× 不潔部位や自浄性の悪い部位に付着しやすい。</p> <p>文献 : 歯科予防処置 21 ポイントチェック⑤ 5</p> <p>▶ keyword : 付着性ブラーク、非付着性ブラーク</p>
<p>77 上顎左側前歯部のスケーリング・ルートプレーニング前の口腔内写真(別冊 No. 6)を別に示す。誤っているのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 歯肉の炎症がみられる。</p> <p>b PMA インデックスは0である。</p> <p>c キュレットを使用する場合は#13-14を使用する。</p> <p>d 歯肉縁上歯石がみられる。</p>	<p>解答 : b, c</p> <p>a○ 歯肉の炎症がみられる。</p> <p>b× 歯肉乳頭、辺縁歯肉に炎症がみられる。</p> <p>c× 歯肉部でキュレットを使用する場合は#1-2、#3-4、#5-6のいずれかを使用する。</p> <p>d○</p> <p>文献 : 歯科予防処置 25、130</p> <p>▶ keyword : 歯周炎、キュレット</p>
<p>78 68歳の男性。下顎前歯部の歯石除去を希望して来院した。問診と口腔内診査から以下のことがわかった。この患者に対し考慮すべきことで誤っているのはどれか。</p> <p>○心筋梗塞症の治療でワルファリンカリウムを服用している</p> <p>○歯肉に発赤、腫脹が認められる</p> <p>○歯肉縁下歯石が認められる</p> <p>a 超音波スケーラーを用い短時間で歯石除去する。</p> <p>b 止血時間を確認する。</p> <p>c 切れ味の鈍いスケーラーを用い出血を防ぐ。</p> <p>d バイタルサインを確認しながら歯石除去する。</p>	<p>解答 : c</p> <p>この患者はワルファリンカリウムを服用していることから、出血傾向にあるということからまず理解する。ワルファリンカリウムは抗凝固薬で、血栓塞栓症(静脈血栓症、心筋梗塞症、肺塞栓症、脳塞栓症、徐々に進行する脳血栓症など)の治療および予防に用いられる。</p> <p>a○ 手用スケーラーに比べフェザータッチで歯石除去ができ、操作時間が短くなって患者へ与える不快感が減少する。</p> <p>b○ 出血傾向にあるということから止血時間の確認は重要である。</p> <p>c× 切れ味の鈍いスケーラーは滑脱しやすく歯肉を傷つけやすい。</p> <p>d○ 心疾患の既往歴があることや年齢から考慮し、バイタルサインを確認することは大切である。</p> <p>文献 : 最新歯科衛生士教本高齢者歯科 38-43 薬理学 84</p> <p>▶ keyword : ワルファリンカリウム</p>

問題 A	解答・解説
<p>79 図は手指の清浄法における手洗いを示す。</p>  <p>衛生的手洗いはどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶keyword: 手洗いの分類</p>	<p>解答: c</p> <p>手洗いは感染を予防するための最も重要な基本的手段である。目的に応じた手洗いを把握しておくことが重要である。</p> <p>a × 流水のみによる手洗いで消毒効果はない。 b × 日常手洗いは最も基本的で、すべての手洗いの原点である。日常業務全般時に実施する。 c ○ 衛生的手洗いは: 通過菌と常在菌の一部を除去し、おもに無菌操作時に実施する。 d × 手術時手洗いは: 手術時に消毒剤と流水、スポンジブラシなどを用い、時間をかけて行う。</p> <p>文献: ポイントチェック⑦ 感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄 8-14 (ICHG 研究会)</p>
<p>80 術中の偶発事故の予防および対処法で誤っている組合せはどれか。</p> <p>a フッ化ジアンミン銀による衣服の汚染——水洗 b スケーラーによる手指の損傷——流水下における洗浄 c 口腔内でのスケーラー刃部の破折——バキュームによる吸引 d ヨード薬物アレルギー——問診</p> <p>▶keyword: 偶発事故の予防と対策</p>	<p>解答: c</p> <p>歯科衛生士としての立場を踏まえた的確な対応ができるよう、日常での心構えが必要である。</p> <p>a ○ 水洗あるいはぬれた布などで十分拭きとり、適宜薬品による除去を行う。 b ○ ただちに損傷部を水洗、消毒した後、専門医による応急処置と必要に応じ諸検査を受ける。 c × 口をすすいだり、バキューム吸引をせずに口を開けたまま破折片の確認に努める。 d ○ 薬物アレルギーに関しては、既往歴の問診による事前のチェックを十分に行うことが大切である。</p> <p>文献: 歯科予防処置 150-158 ポイントチェック⑤ 24</p>
<p>81 グレーシーキュレットの写真(別冊 No. 7)を別に示す。正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ①は大臼歯部近心隣接面用である。 b ②はF1歯部頰舌側面用である。 c ③は前歯部用である。 d ④はF1歯部遠心隣接面用である。</p> <p>▶keyword: グレーシーキュレット、使用部位</p>	<p>解答: b, d</p> <p>グレーシーキュレットは特定部位専用キュレットである。</p> <p>1/2, 3/4 前歯 5/6 前歯および小臼歯 7/8, 9/10 臼歯部頰側と舌側面 11/12 F1歯部近心 13/14 臼歯部遠心</p> <p>a × #5 であるため、おもに前歯に使用する。 b ○ #7 であるため、臼歯部頰側と舌側面に使用する。 c × #11 であるため、臼歯部近心に使用する。 d ○ #13 であるため、臼歯部遠心に使用する。</p> <p>文献: 歯科予防処置 48, 67 ポイントチェック⑤ 17</p>

問題 A	解答・解説
<p>82 グレーシータイプキュレットの説明で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ローワーシャンクを歯軸と平行に操作する。 b ローワーシャンクを歯面に 20° 傾ける。 c 作業時は刃部全体を使用する。 d オフセットブレードである。</p> <p>▶keyword: グレーシータイプキュレット・ユニバーサルタイプキュレット</p>	<p>解答: a, d</p> <p>スケーリングを効率よく行うには、歯面と刃のなす角度を適正角度 (45°~90°) で操作することが重要である。最もよいのは 70° 前後といわれている。</p> <p>a ○ グレーシータイプキュレットの基本操作である。 b × ユニバーサルタイプキュレットの基本操作である。 c × 作業部は刃部の先から 1/3 である。 d ○ 刃部内面がローワーシャンクに対して 70° の角度に傾斜している。</p> <p>文献: 歯科予防処置 46</p>
<p>83 超音波スケーラーで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 毎秒 25,000~40,000 回の振動を利用する。 b キャビテーション効果がある。 c 知覚過敏歯に適する。 d 歯面に対して 70° の角度で操作する。</p> <p>▶keyword: 超音波スケーラー</p>	<p>解答: a, b</p> <p>a ○ b ○ c × 知覚過敏歯や急性歯髄炎の患者には使用できない。また、ペースメーカー使用患者、鼻呼吸ができない患者、ポーセレン修復歯では使用禁忌である。 d × 歯面に対して 15° の角度で操作する。</p> <p>文献: 歯科予防処置 160-168</p>
<p>84 PMTC の実際の写真 (別冊 No. 8) を別に示す。使用している器具はどれか。</p> <p>a ストレートコントラアングルハンドピース b プラスチックチップ c ラバーカップ d プロワイヤーカップ</p> <p>▶keyword: PMTC 用器材</p>	<p>解答: b</p> <p>PMTC はプロフェッショナル・メカニカル・トゥース・クリーニングのことで、専門家による機械的歯面清掃である。写真は往復運動をする専用のコントラアングルハンドピースにエバチップ®を取り付けて操作している。プラスチックチップは隣接面の研磨に使用されるが、その他ティースブラシ、ラバーカップなどを使用する。</p> <p>a × b ○ c × d ×</p> <p>文献: 歯科予防処置 56</p>
<p>85 PMTC による効果はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 齦炎や歯周疾患の予防 b 歯周ポケットの拡張 c 歯肉炎の改善 d 咬合の改善</p> <p>▶keyword: PMTC</p>	<p>解答: a, c</p> <p>PMTC は、専門家による歯肉縁上および縁下 1~3 mm のプラークを専用の機械的な器具を用いて選択的に除去する。PMTC の目的は隣接面などのバイオフィルムの破壊、プラークの除去である。</p> <p>a ○ 主に齦炎および歯周疾患など歯科疾患の予防である。 b × 歯周ポケット内のプラークを除去する目的で行われるが、拡張は行わない。 c ○ 歯科疾患の治療の中でも行われるので、歯肉炎および歯周炎の改善もその効果として期待できる。 d × 矯正治療などの目的である。</p> <p>文献: ポイントチェック⑤ 22-23</p>

問題 A		解答・解説	
86	45歳の男性。口腔内写真(別冊 No. 9)を別に示す。この歯面に対する処置に必要な器具はどれか。 a 超音波スケーラー b 歯面磨器 c グレーシーキュレット #13-14 d シックルスケーラー	解答: c 写真から多量の歯肉縁上歯石とステインの沈着が観察される。 a ○ 超音波スケーラーは多量の歯肉縁上歯石とステイン除去のために使用する。 b ○ 歯面磨器はステイン除去のために使用する。 c × グレーシーキュレット #13-14 は臼歯部遠心隣接面の歯肉縁下処置に用いる。 d ○ シックルスケーラーは超音波スケーラー使用後、除去できなかった歯肉縁上歯石の除去に使用する。	文献: 歯科予防処置 40-55 ポイントチェック⑤ 9、10、12-13
▶ keyword: スケーリング			
87	歯肉ポケット測定値が4mmの下顎前歯歯槽部のルートプレーニングに適したグレーシーキュレットはどれか。 a #1-2 b #7-8 c #11-12 d #13-14	解答: a a ○ b × 臼歯部歯頸部用 c × 臼歯部近心隣接面用 d × 臼歯部遠心隣接面用	文献: 歯科予防処置 97
▶ keyword: キュレット			
88	写真(別冊 No. 10)を別に示す。この操作に正しいのはどれか。2つ選べ。 a 同一部位に30秒以上操作する。 b エンジンの回転数は、4,000~5,000 rpmで操作する。 c 歯冠から歯肉方向に操作する。 d 必要に応じて歯肉縁下まで挿入する。	解答: b, d 写真はラバーカップを用いて歯面研磨を行っているところである。 a × 摩擦熱を避けるため、1箇所押し当てたままではなく10~20秒程度とし断続的に行う。 b ○ c × 歯肉を傷つけないよう歯冠方向に操作する。 d ○	文献: 歯科予防処置 139-140 ポイントチェック⑤ 22
▶ keyword: ラバーカップの操作			
89	写真(別冊 No. 11)を別に示す。この操作で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 歯の動揺度を測定している。 b 操作時の圧は20~25gで行う。 c 歯軸に平行に操作する。 d 測定値は一般的に低いほうの目盛りを読むことが多い。	解答: b, c 写真はプロービングを行っているところである。 a × 歯の動揺度の測定はピンセットで行う。 b ○ c ○ d × 高いほうの目盛りを読むことが多い。	文献: 歯科予防処置 122-126
▶ keyword: プロービング			

問題 A		解答・解説	
90	エキスポローリングの写真(別冊 No.12)を別に示す。器具の適合で誤っているのはどれか。2つ選べ。 a ① b ② c ③ d ④	解答: a, c a × ローワーシャックが歯面に平行になっていない。 b ○ c × ローワーシャックが歯面に平行になっていない。 d ○	文献: 歯科予防処置 80-81
▶ keyword: 探針操作法			
91	体重13kgの男児に2%フッ化ナトリウムを塗布するよう歯科医師より指示された。誤って全量を飲みこんでしまった場合に急性中毒(悪心嘔吐)を起す可能性のある最低量はどれか。 a 2.8 ml b 3.9 ml c 5.2 ml d 6.5 ml	解答: a フッ化物の急性中毒発現量(悪心嘔吐)は、体重1kgあたり2mg(フッ素量)以上である。この男児の急性中毒フッ素量は、13kg×2=26mg(0.026g)。2%フッ化ナトリウム溶液は、100ml中NaFは2g含まれる。NaFに含まれるフッ素量は0.9gである。ゆえに、0.9:100=0.026:Xとなる。よってX=2.8(ml)となる。 a ○ b × c × d ×	文献: 歯科予防処置 207-212 ポイントチェック⑤ 28-30
▶ keyword: フッ化ナトリウム、急性中毒			
92	64歳の女性。上下顎の前歯部に歯肉退縮が認められた。歯科医師より根面齲蝕の予防を指示された。適当なのはどれか。2つ選べ。 a 歯間ブラシの使用の確認 b フッ化物洗口 c フッ化ジアンミン銀の塗布 d 小窩裂溝充填法	解答: a, b 歯科医師や歯科衛生士が行う齲蝕予防処置法には、フッ化物の歯面塗布法、フッ化ジアンミン銀の塗布、小窩裂溝充填法などがある。 a ○ 隣接面のブラーク除去に歯間ブラシは効果的である。使用の確認を行い、適応できるかどうか判断する。 b ○ 歯質の強化(耐酸性の向上)の点から、フッ化物洗口は有効である。 c × フッ化ジアンミン銀は、主に初期齲蝕の進行抑制に用いられる。塗布後黒変することから永久歯、特に前歯部への塗布は適当とはいえない。 d × 小窩裂溝充填法は、萌出後固もない歯の齲蝕感受性の高い咬合面の小窩裂溝部に対して行われる処置で、根面齲蝕に対する処置としては適当でない。	文献: 歯科予防処置 207-249 ポイントチェック⑤ 28-34
▶ keyword: 根面齲蝕			
93	6歳の男児。齲蝕はなくブラークの付着が著しいためブラークを試料として齲蝕活動性試験を行うことにした。適切な検査法はどれか。 a グルコースクリアランステスト b エナメル質生検法 c Dentcult® SM d スナイダーテスト	解答: c ブラークの付着が多いので齲蝕原生菌であるSM菌の量を調べる。 a × 唾液を検体とする。 b × 歯を検体とする。 c ○ d × 唾液を検体とする。	文献: ポイントチェック⑤ 27
▶ keyword: 齲蝕活動性試験			

問題 A		解答・解説	
94	<p>3 歳児健診で O 型と区分された男児が来院。保護者の希望によりフッ化物を塗布することになった。薬液はリン酸酸性フッ化ナトリウム溶液を使用した。次回の塗布時期として適切なのはどれか。</p> <p>a 1 週間後 b 2 週間後 c 3 カ月後 d 6 カ月後</p>	<p>解答: d</p> <p>3 歳児健診診査の齲蝕罹患率判定区分で O 型は齲蝕がないので、一般的指導および危険因子についての指導を行うとともに、フッ化物歯面塗布などの予防処置を勧めるとよい。問題は、フッ化物歯面塗布の実施頻度に関するものである。リン酸酸性フッ化ナトリウムは、年 1~2 回が一般的である。</p> <p>a × b × c × d ○</p>	<p>文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 65-90、143-145 ポイントチェック⑥ 28-30</p>
▶ keyword: リン酸酸性フッ化ナトリウム、塗布時期			
95	<p>歯面塗布に用いられるフッ化物はどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 0.2% フッ化ナトリウム溶液 b リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液 c モノフルオロリン酸ナトリウム d 8% フッ化第一スズ溶液</p>	<p>解答: b, d</p> <p>a × 0.2% フッ化ナトリウム溶液はフッ化物洗口法の週 1 回法に用いる薬液である。 b ○ リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液は歯面塗布法に用いる薬液である。 c × モノフルオロリン酸ナトリウムはフッ素配合歯磨剤に用いられるフッ化物である。 d ○ 8% フッ化第一スズ溶液は歯面塗布法に用いる薬液である。</p>	<p>文献: 歯科予防処置 209 ポイントチェック⑥ 28-29、33-34</p>
▶ keyword: フッ化物歯面塗布法			
96	<p>齲蝕予防で使用するフッ化物 1~4 について、フッ素濃度の低い順に示されているのはどれか。</p> <p>1. 酸性フッ素リン酸ゲル (Brudevold 1 法) 2. モノフルオロリン酸ナトリウム 3. フッ化ジアンミン銀塗布溶液 4. 2% フッ化ナトリウム溶液</p> <p>a 2-4-1-3 b 2-1-4-3 c 4-1-2-3 d 4-2-3-1</p>	<p>解答: a</p> <p>フッ素濃度に関しては正確な値を把握しておくことが必要である。各フッ素濃度は以下である。</p> <p>1. 酸性フッ素リン酸ゲル (Brudevold 1 法) —12,300ppm 2. モノフルオロリン酸ナトリウム—1,000 ppm 3. フッ化ジアンミン銀塗布溶液—45,000ppm 4. 2% フッ化ナトリウム溶液—9,000ppm</p> <p>a ○ b × c × d ×</p>	<p>文献: 歯科予防処置 221 ポイントチェック⑤ 28-29</p>
▶ keyword: フッ素濃度			


問題 A		解答・解説	
97	<p>2 歳の男児。BAAB の 4 歯にフッ化ジアンミン銀を塗布した。このとき保護者に対して行う注意事項で正しいのはどれか。</p> <p>a 30 分間は洗口や飲食は禁止である。 b 黒変は永久歯にも影響が出る可能性がある。 c 数時間から数日後に塗布部が黒変する。 d 黒変は 1 カ月後には自然に消失する。</p>	<p>解答: c</p> <p>フッ化ジアンミン銀は、初期齲蝕の進行抑制や知覚過敏症の抑制などを目的に使用される。塗布部が黒変することから、永久歯には適応しないが乳歯では患者が治療に協力的でない場合等、通常の治療が困難な場合に用いられる。</p> <p>a × 塗布後の注意に 30 分間、洗口や飲食の禁止は特に必要ない。 b × 黒変は、薬液に含まれる銀が齲蝕の有機質と結合して起こる反応で、永久歯に影響することはない。 c ○ d × 着色部を削除しないかぎり消失することはない。</p>	<p>文献: 歯科予防処置 212-238 ポイントチェック⑥ 31</p>
▶ keyword: フッ化ジアンミン銀、塗布後の注意			
98	<p>写真 (別冊 No. 13) を別に表示。この処置を行う際正しいのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 小窩裂溝部に充填する。 b 歯面清掃は研磨剤を残さないよう清掃する。 c 2% リン酸溶液で酸処理を行う。 d エッチングはポリッシングブラシを使用する。</p>	<p>解答: a, b</p> <p>a ○ b ○ c × 小窩裂溝充填時の酸処理 (エッチング) は、一般に 30~50% のリン酸溶液を用いてエナメル質の表面を脱灰し、充填材の接着保持を期待する。 d × ポリッシングブラシを使用すると広範囲の酸処理となるため専用ブラシかエクスプローラーで行う。</p>	<p>文献: 歯科予防処置 238-240</p>
▶ keyword: 小窩裂溝充填法			
99	<p>小窩裂溝充填法について正しいのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a グラスアイオノマーセメント系は半萌出歯に応用できる。 b 充填後 30 分間は洗口を禁止する。 c 上顎切歯舌側も適応症に入る場合がある。 d エッチングの時間はメーカーによらず一定である。</p>	<p>解答: a, c</p> <p>a ○ 酸処理を必要としないため、ラバーダム防湿が不可能な半萌出歯にも応用できる。 b × 硬化後は洗口を行ってもよい。 c ○ そのほか上顎切歯舌側基部小窩が深いもの、萌出直後より約 3~4 年間も適応症となる。 d × メーカーにより異なるので説明書に従う。</p>	<p>文献: 歯科予防処置 214-216 ポイントチェック⑥ 32</p>
▶ keyword: 小窩裂溝充填法			
100	<p>フッ化物洗口法 (毎日法) で誤っているのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>a 1 回の洗口液の量は 5~10 ml を用いる。 b 口腔内残存フッ素量は 5~15% である。 c ブラッシングの前に行う。 d 3 分間ブクブクうがいを行う。</p>	<p>解答: c, d</p> <p>a ○ b ○ c × ブラッシング後に行うのが効果的である。 d × 洗口時間は 30 秒~1 分間とし、洗口後は液を吐き出す。</p>	<p>文献: ポイントチェック⑥ 33</p>
▶ keyword: フッ化物洗口法			

問題B	解答・解説
歯科臨床概論	
101 インフォームドコンセントの解釈で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 医療従事者が治療法を選択すること。 b 患者が今後の説明を求めること。 c 治療に対する同意を得ること。 d 医療従事者間の信頼関係を築くこと。	解答: b, c インフォームドコンセントとは医療従事者が病名や治療法、それに対する危険性や予後などを説明し、患者の同意を得ること。双方の信頼関係を築くために大切とされている。 a × 医療従事者が治療法を選択することではない。 b ○ 患者に今後の説明をすることも含まれる。 c ○ 医療従事者が治療法を説明し患者の同意を得ることである。 d × 医療従事者と患者の信頼関係を築くことである。 文獻: 歯科臨床概論 4-5 keyword: インフォームドコンセント
102 訪問歯科診療について正しいのはどれか。 a 歯科診療なのでバイタルチェックは必要ない。 b 対象は高齢者のみである。 c 全身を管理する方法を知っておく。 d 施設で療養する患者は在宅訪問診療の対象ではない。	解答: c 訪問歯科診療の対象の多くは高齢者で歯科疾患以外にも多くの疾患を有している可能性がある。そのため、診療にあたっては日常生活動作 (ADL)、バイタルサインをチェックし、緊急時に備えて全身をコントロールする方法を知っておく必要がある。 a × 高齢者の歯科診療時はバイタルサインのチェックが必要である。 b × 在宅訪問診療の対象は高齢者だけでなく、特定疾患を有するものなどが含まれる。 c ○ 観血処置を行うときに限らず、全身をコントロールする方法を知っておかなくてはならない。 d × 施設で療養する患者も在宅訪問診療の対象となる。 文獻: 歯科臨床概論 19-23 keyword: バイタルサイン、在宅訪問診療
103 有機材料はどれか。2つ選べ。 a シリコーンゴム b 陶材 c 合金金 d アクリリックレジン	解答: a, d 有機材料とは簡単なかたちの炭素の化合物や金属の炭酸塩などを除いた炭素化合物の総称である。熱伝導度、電気伝導度が小さく、空気中で燃焼する。 a ○ 印象材などに用いられる。 b × 歯冠修復材料に用いられる無機材料である。 c × 歯冠修復材料に用いられる金属材料である。 d ○ 義歯床や歯冠修復材料に用いられる。 文獻: 歯科材料の知識と取り扱い 11-13 ポイントチェック③ 11-14 keyword: 有機材料
104 歯肉線下歯石の確認に使用されるのはどれか。2つ選べ。 a ガックバーチャポイント b エアシリンジ c エックス線写真 d リーマー	解答: b, c 歯肉線下歯石の確認には、歯周プローブの他にエキスプローラや、エックス線写真、エアシリンジなどが用いられる。 a × b ○ スリーウェイシリンジによるエアの吹きつけによって、歯周ポケットを広げ、目視による確認がなされる場合もある。 c ○ エックス線写真によって、隣接面の歯石が確認できる。 d × 文獻: 歯科予防処置 23 keyword: 歯肉線下歯石、エックス線写真、スリーウェイシリンジ

問題B	解答・解説
105 貧血の検査で指標となるのはどれか。 (1) ヘモグロビン量 (2) 血小板数 (3) 血液型 (4) 血清鉄 a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)	解答: b 貧血の検査はまず、赤血球数、ヘモグロビン量、ヘマトクリット値などを測定して判定する。原因の追求には、血清鉄やビタミン B ₁₂ 、葉酸などを測定する。 (1)○ 貧血の有無を判断するのに用いる。 (2)× 血小板数は出血性素因の検査である。 (3)× 血液型は赤血球の表面にある抗原を検出する検査で、貧血の検査ではない。 (4)○ 貧血の種類を調べるのに用いる。 文獻: 臨床検査法 71-79 ポイントチェック④ 23 keyword: 貧血の有無と種類
106 歯科用デジタルエックス線撮影で正しいのはどれか。 a フィルムの代わりに CCD センサーなどを用いる。 b 画像是劣化する。 c フィルム系撮影より撮影時間は長い。 d フィルム系より鮮鋭度はよい。	解答: a 歯科用デジタルエックス線撮影はフィルムの代わりに CCD センサーなどを用い、コンピュータにより画像が形成される。 a ○ フィルムの代わりに CCD センサーなどを用いる。 b × 画像データがコンピュータに保存されるため劣化しない。 c × デジタルエックス線撮影のほうが、フィルム系より照射時間は短い。 d × 鮮鋭度はフィルム系のほうがよい。 文獻: ポイントチェック④ 16 keyword: CCD、デジタル
107 患者の被曝軽減法で誤っているのはどれか。 a 鉛エプロンの着用 b 防護衝立の設置 c 高感度フィルムの使用 d 適切な管電圧	解答: b 患者の被曝軽減には、照射時間を短くする、放射線が体に当たらないようにすることが重要である。 a ○ 鉛 (防護) エプロンはエックス線の被曝を防ぐ。 b × 放射線が当たらないようにする衝者 (撮影者) 側の防護である。 c ○ 高感度フィルムは照射時間を短くして、被曝量を軽減する。 d ○ 管電圧はフィルムの濃度に影響する。適正な管電圧は 60~90 kV である。 文獻: ポイントチェック④ 18 keyword: 被曝軽減、防護エプロン、高感度フィルム
保存修復学	
108 ガラスアイオノマーセメント修復について正しいのはどれか。2つ選べ。 a 熱の伝導性が低い。 b 機械的強さが優れている。 c 歯髄に対して毒性が少ない。 d 非金属材料に対して接着性がある。	解答: c, d ガラスアイオノマーセメントは、①歯質に対して酸処理なしに接着する、②非金属材料に対して接着する、③歯髄に対して低刺激性である、④フッ化物イオンの溶出によって二次齲蝕抑制効果が期待される、⑤熱膨張係数が歯質に近い、⑥歯頸部知覚過敏に効果的である、⑦熱や電気の不良導体であることが長所としてあげられている。 a × 熱伝導性が低いため、歯髄に刺激を与えることが少ない。 b × 機械的強さに劣るので、咬合圧のかかる部位には用いられない。 c ○ 象牙質を介して応用された場合は、歯髄組織に対して無刺激性である。 d ○ 歯質のみならず金属にも接着性を有する。 文獻: 保存修復学・歯内療法学 90-91 保存修復学 第4版 185 ポイントチェック④ 64 keyword: グラスアイオノマーセメント


問題ID	解答・解説
109	<p>II級メタルインレー修復について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 弾性印象材を用いる。 b 印象時に歯間分離法を行う。 c 合金タイプIIが適用される。 d 模型材には普通石膏を用いる。</p> <p>▶keyword: 鑄造修復, 合金</p> <p>解答: a, c 窩洞形成後に印象採得し、作業模型を作製し、模型上でワックスパターンを作製する間接法を用いれば複雑な窩洞形態の再現も可能である。鋳造修復に用いられる合金のうち、合金はアメリカ歯科医師会 (ADA) 規格および ISO 規格によりタイプI (軟質)~IV (超硬質) に分けられている。 a ○ 弾性印象材としてシリコンラバーや燦天とアルジネートの連合印象が用いられる。 b × 歯肉側壁窩縁部の印象を精密に採るためには、歯肉圧排をする必要がある。 c ○ I 単純インレーは軟質の合金タイプ、II 級インレーは中質のタイプII や金銀パラジウム合金を用いる。 d × 模型材として超硬石膏、硬石膏を使用する。</p> <p>文献: 保存修復学・歯内療法 121-129 保存修復学 第4版 223-224, 232-235 歯科材料の知識と取り扱い 164</p>
110	<p>19歳の男性。矯正治療中の口腔内写真 (別冊 No.1) を別に示す。上顎右側切歯に象牙質表層に達する齶蝕が認められた。本症例について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 齶蝕は近心隣接面にある。 b 齶蝕症第1度である。 c 平滑面齶蝕である。 d III級窩洞になる。</p> <p>▶keyword: 齶蝕, ブラックの高洞分類</p> <p>解答: c, d 矯正中の歯の移動により明らかになった齶蝕である。過心隣接面の接触点直下に存在する平滑面齶蝕で、窩洞形成後に、コンポジットレジン修復やガラスイオノマーセメント修復が適応症となる。 a × 齶蝕は過心隣接面に位置する。 b × 象牙質齶蝕なので齶蝕症第2度である。 c ○ 切歯の隣接面における窩洞なのでIII級である。 d ○ 切歯の隣接面における窩洞なのでIII級である。</p> <p>文献: 保存修復学・歯内療法 29-31 保存修復学 第4版 60-61 ポイントチェック③ 47</p>
111	<p>球状スチールバーの用途で正しいのはどれか。</p> <p>a 齶蝕象牙質の除去 b 窩縁斜面の付与 c 窩縁の平坦化 d 四角の明瞭化</p> <p>▶keyword: ラウンドバー, 齶蝕除去, スチールバー</p> <p>解答: a 回転切削器具にはマイクロモーター用とエアタービン用とに大別できる。スチールバーはマイクロモーターに装着して使用する。スチールバーには球状 (ラウンドバー)、圓錐形状 (インバーテッドコーンバー)、平頭裂溝状 (ストレートフィッシュャーバー)、先端裂溝状 (エンドカッティングバー)、尖形裂溝状 (テーパードフィッシュャーバー) などの形態がある。 a ○ 齶蝕象牙質の除去のほか、窩洞の内形穿下付与、金箔修復窩洞の起始点付与、天蓋・齶角の除去などに用いる。 b × 窩縁斜面の付与はホワイトポイントや球状のダイヤモンドポイントなどを用いる。 c × 平頭裂溝状スチールバー、尖形裂溝状スチールバーなどを用いる。 d × 平頭裂溝状スチールバー、尖形裂溝状スチールバーなどを用いる。</p> <p>文献: 保存修復学・歯内療法 43-52</p>
112	<p>前歯部I級窩洞のコンポジットレジン修復に必要な器材はどれか。</p> <p>a 咬合紙 b ストリップス c サービカルマトリックス d アイボリーのセパレーター</p> <p>▶keyword: I 級窩洞, コンポジットレジン</p> <p>解答: a ブラックの高洞とは、G.V. Black が齶蝕の好発部位と技術的特性との関連から、窩洞をI級からV級まで分類したものである。前歯部のI級窩洞とは、上顎切歯の舌面小窩に局限する窩洞をさす。 a ○ 舌側に位置する窩洞なので、咬合紙を用いて咬合状態を確認する必要がある。 b × III級やIV級窩洞のように隣接面を含む窩洞ではないので、用いることはない。 c × V級、くさび状欠損窩洞に用いるマトリックスである。 d × I級窩洞に歯間分離器は用いない。</p> <p>文献: 保存修復学・歯内療法 29-31 保存修復学 第4版 155</p>

問題ID	解答・解説
歯内療法	
113	<p>齶蝕炎と根尖性歯周炎との鑑別診断で重要な診査はどれか。</p> <p>(1) 電気歯髓診断 (2) エックス線診査 (3) ポケット診査 (4) インピーダンス測定検査 a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)</p> <p>▶keyword: 現症の診査, 電気歯髓診断</p> <p>解答: a 歯内療法の診査法に関する出題である。口腔 (歯科) 領域の検査の種類と適応について理解しておく。 (1) ○ 電気的刺激を歯髓に与え、その反応の有無で歯髓の生死を知る方法である。齶蝕は歯髓炎では生活状態に、根尖性歯周炎では失活状態になっており、電気歯髓診断は鑑別診断に有効である。 (2) ○ エックス線診査で根尖部透過像や根管充填材が認められる場合は、歯髓が失活している可能性が高いので、根尖性歯周炎であることがわかる。 (3) × ポケット診査は歯周ポケットを測定するもので、歯周病の診査に用いられるが、歯髓の生死の鑑別診断には用いられない。 (4) × インピーダンス測定検査は、齶窩の深さや根管長を測定するために用いられるが、歯髓の生死の鑑別診断には用いられない。</p> <p>文献: 保存修復学・歯内療法 16-21, 147, 148, 155, 191 ポイントチェック③ 49, 50</p>
114	<p>根管洗浄に使用する次亜塩素酸ナトリウムについて正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 漂白作用がある。 b 炭酸水素ナトリウムと交互に用いる。 c 無機質溶解作用がある。 d 有機質の存在により消毒力が低下する。</p> <p>▶keyword: 次亜塩素酸ナトリウム</p> <p>解答: a, d 歯内療法の薬剤に関する出題である。歯内療法には目的に応じた各種薬剤が使用される。問題を解くにはそれぞれの薬剤の代表的な性質を知っておく必要がある。次亜塩素酸ナトリウムは根管清掃剤として使用される。 a ○ 次亜塩素酸ナトリウムは強い酸化力により、制臭作用と漂白作用をもつ。 b × 次亜塩素酸ナトリウムは過酸化水素水と併用すると発泡作用を示す。炭酸水素ナトリウムはフェノールスルホン酸と併用する。 c × 無機質溶解作用があるのは EDTA である。次亜塩素酸ナトリウムは強力な有機質溶解作用があり、その強い酸化力で消毒作用を示す。 d ○ 次亜塩素酸ナトリウムは有機質が存在すると塩素が反応して、徐々に残留塩素が減少して消毒力が低下する。</p> <p>文献: 保存修復学・歯内療法 200, 204, 206, 207, 239 ポイントチェック③ 91, 92, 98</p>
115	<p>下顎左側第一大臼歯の歯面と歯中のエックス線写真 (別冊 No.2) を別に示す。行われた治療はどれか。</p> <p>a 根尖切除法 b 歯根切断法 c 歯根分離法 d ヘミセクション</p> <p>▶keyword: ヘミセクション</p> <p>解答: d 外科的歯内療法に関する出題である。外科的歯内療法の種類、目的を理解する必要がある。 a × 根尖切除法は、根尖病巣とその原因を成している歯根尖を含めて除去し、歯の保存をはかる方法である。 b × 歯根切断法は、特に上顎第一大臼歯の1根または頰側の2根に高度な歯周病変がある症例に対して行う。歯冠は元のままで、歯根のみを歯頸部から切断、除去する方法である。 c × 歯根分離法は、複根歯、特に下顎第一大臼歯に根分岐部病変がある場合、歯を近遠心に分離し、2個の小臼歯として保存する方法である。 d ○ ヘミセクションは、下顎第一大臼歯の近心根あるいは過心根のいずれかの歯根を2分割した歯冠とともに除去し、他の一方の歯冠と歯根を残存させて歯の保存をはかる方法である。</p> <p>文献: 保存修復学・歯内療法 223-228 ポイントチェック③ 96, 105</p>

問題 B		解答・解説	
116	KファイルとHファイルの規格で異なるのはどれか。 a 断面の形状 b 材質 c 刃部のテーパ d 刃部の長さ	解答：a 根管治療に用いる器具は規格化されている。材質、断面の形態、テーパ、刃部の長さ、カラーコードなど理解しておく。 a○ Kファイルの断面形状は正方形か正三角形であり、Hファイルは円に近い形状である。 b× 材質は同じステンレス・スチールである。 c× 刃部のテーパは同一の100分の2である。 d× 刃部の長さは一定で16mmである。	文献：保存修復学・歯内療法学 194-195 ポイントチェック④97
▶keyword：根管処置、ファイル			
117	ガッタパーチャポイントについて正しいのはどれか。2つ選べ。 a 変形して元の形に戻る。 b 持続的殺菌作用を有する。 c 有機溶媒に溶ける。 d エックス線不透過性を有する。	解答：c, d ガッタパーチャポイントは根管充填材として最もよく用いられるので、その性質を理解しておく。また根管充填材の所要性質も理解しておく。 a× 加圧や、熱による可塑性を有する。 b× ガッタパーチャポイントそのものに殺菌作用はない。 c○ 有機溶媒に溶ける性質があり、除去時に応用される。 d○ 硫酸バリウムなどの造影剤を含み、エックス線不透過性を有する。	文献：保存修復学・歯内療法学 211-212 ポイントチェック④95
▶keyword：根管充填、ガッタパーチャポイント			
歯周治療学			
118	歯周基本治療に含まれないのはどれか。 a ブラークコントロール b 小矯正治療 c 抜歯 d 永久固定	解答：d 。歯周基本治療には、ブラークコントロール、モチベーション、スケーリング・ルートプレーニング、咬合調整、小矯正治療、抜歯などが含まれる。 a○ 歯周基本治療の重要なステップである。 b○ 炎症の除去とともに行う。MTMともよばれる。 c○ 保存不可能な場合は抜歯をする。 d× 歯周基本治療では暫間固定を行うが、永久固定は行わない。	文献：歯周治療学 74-77
▶keyword：歯周基本治療			
119	セメント-エナメル境におけるセメント質(C)とエナメル質(E)の関係図を示す。①~④の形態がそれぞれ発生する頻度で正しいのはどれか。  ① ② ③ a 60~65% 30% 5~10% b 5~10% 30% 60~65% c 30% 60~65% 5~10% d 60~65% 5~10% 30%	解答：a セメント-エナメル境(CEJ)におけるセメント質とエナメル質との関係を理解する。PMTCを行う際、CEJの関係をよく観察して③のような歯根露出についてはフッ化物の塗布なども必要である。知覚過敏との関係を考慮し、スケーリング時には解剖形態に注意する。 a○ ③は象牙質が露出しており知覚過敏を生じやすい。 b× c× d×	文献：標準歯科病学 12-13 (医学書院)
▶keyword：セメント-エナメル境			

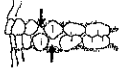
問題 B		解答・解説	
120	外科的歯周治療について正しいのはどれか。 a 歯肉剥離掻爬術では外斜切開を行う。 b 新付着術では縫合を行う。 c 歯周ポケット掻爬術ではメスを使用する。 d 歯肉切除術は骨線下ポケットのある場合に行う。	解答：b 歯周外科手術の使用器具、方法について理解する。 a× 歯肉剥離掻爬術では内斜切開を行う。 b○ 新付着術では縫合を行う。 c× 歯周ポケット掻爬術はスケーラーを使用する。 d× 歯肉切除術は骨線下ポケットには行わない。	文献：歯周治療学 134-155 ポイントチェック④139-141
▶keyword：外科的歯周療法			
121	スケーリングの目的について正しいのはどれか。 (1) ブラークの付着の減少 (2) 歯肉の炎症改善 (3) 歯石表面の増状化 (4) 歯根の形態改善 a(1), (2) b(1), (4) c(2), (3) d(3), (4)	解答：a (1)○ 粗糙な歯石を除去することでブラークの付着を抑制する。 (2)○ 歯肉に有害作用のある歯石を除去し炎症の改善をはかる。 (3)× 歯石は表面だけでなく、すべて除去する。 (4)× ブラークや歯石を除去するが、歯根の形態は変えない。	文献：歯周治療学 111-133
▶keyword：スケーリング			
122	歯肉の炎症が進行すると出現するのはどれか。 (1) スティッピング (2) 歯肉出血 (3) 歯槽骨の吸収 (4) 小帯異常 a(1), (2) b(1), (4) c(2), (3) d(3), (4)	解答：c 歯周病に罹患した歯周組織の状態について理解する。 (1)× 歯肉の炎症によりスティッピングは消失する。 (2)○ 歯肉出血は歯周病の特徴的な症状である。 (3)○ 歯肉の炎症が深部に波及すると歯槽骨の吸収が起る。 (4)× 小帯の異常はブラーク停滞の原因にはなるが、炎症によっては起こらない。	文献：歯周治療学 56-73
▶keyword：歯周組織診査			
歯科補綴学			
123	下顎を挙上する筋はどれか。2つ選べ。 a 咬筋 b 顎二腹筋 c 内側翼突筋 d 外側翼突筋	解答：a, c 下顎運動に関与する顎口腔系の筋には、咬筋、顎頭筋、内側翼突筋、外側翼突筋を総称した咀嚼筋(開口筋)をはじめ、下顎の下顎、舌骨、舌、口腔底などに働く舌骨上筋群(開口筋)、舌骨下筋群、表情筋、舌筋などがある。 a○ 下顎を挙上(閉口)する。咬合力発現に最も大きく関与する。 b× 舌骨上筋群に属し、前腹が開口筋として働く。また下顎の前方運動および後方運動に補助的に働く。 c○ 咬筋と同様に下顎を挙上する。また下顎の前方運動にも働く。 d× 下顎を前方に動かす。下顎頭と関節門板を前方に引く働きをもつ。	文献：歯科補綴学 30
▶keyword：咀嚼筋、開口筋、開口筋			

問題	解答・解説
124 補綴装置の写真(別冊 No. 3)を別に示す。補綴要素で誤っているのはどれか。 a 連結部 b 人工歯 c 支台装置 d ポンティック	解答: b 写真の補綴装置はブリッジであり、支台装置、ポンティック、連結部の3つで構成されている。 a ○ b × 人工歯は義歯の構成要素である。 c ○ d ○ 文獻: 歯科補綴学 66
125 人工歯の選択について正しいのはどれか。2つ選べ。 a 形態選択にはシェードガイドを用いる。 b 前歯部の選択には性別を1つの基準とする。 c シェードガイドは水で濡れた状態で選択する。 d 色調選択は太陽光下(直射日光)で行う。	解答: b, c a × 形態選択にはモールドガイドを使用する。 b ○ 前歯部人工歯選択の基準はSPA要素(sex, personality, age)を用いる。 c ○ シェードガイドは乾燥した状態で選択しない。 d × 直射日光は避ける。人工光であれば、天然日光色で選択する。 文獻: 歯科補綴学 121
126 部分床義歯の製作順序で正しいのはどれか。 a 概形印象→レストシート形成→精密印象→蠟義歯試適→咬合採得 b 概形印象→精密印象→レストシート形成→咬合採得→蠟義歯試適 c 概形印象→レストシート形成→精密印象→咬合採得→蠟義歯試適 d 概形印象→精密印象→レストシート形成→蠟義歯試適→咬合採得	解答: c 部分床義歯の条件により製作ステップは異なるが、基本的な臨床操作と技工操作について理解しておく。 a × 咬合採得後に蠟義歯の試適を行う。 b × レストシートを形成後に筋圧形成して精密印象を行う。 c ○ d × 蠟義歯の試適後に、義歯を重合して完成する。 文獻: 歯科補綴学 92-100
127 咬合採得時の写真(別冊 No. 4)を別に示す。咬合床に引かれた線にないのはどれか。 a 正中線 b 上唇線 c 口角線 d 瞳孔線	解答: d 咬合採得時に咬合床に描記される基準線について理解しておく。 a ○ 正中線は顔面の正中を示す。 b ○ 上唇線は上唇を最大に垂上させたときの上下下線の位置を示す。 c ○ 口角線は口角の位置を示す。 d × 瞳孔線は左右の瞳孔を結んだ線で、咬合平面をこれと平行にする。 文獻: 歯科補綴学 97-99, 118-123

問題	解答・解説
128 補綴装置と辺縁形態の組合せで正しいのはどれか。 a 全部鋳造冠——ベベルドショルダー b レジン前装鋳造冠——ナイフエッジ c ジャケットクラウン——シャンファー d 陶材焼付鋳造冠——ショルダー	解答: d 陶材焼付鋳造冠は前装部に陶材を盛るスペースが必要である。また、陶材は脆性材料のため、縁端強度に乏しく、薄い辺縁形態は選択できない。 a × 全部鋳造冠はナイフエッジ、シャンファーを選択する。 b × レジン前装鋳造冠はショルダー、ベベルドショルダーを選択する。 c × ジャケットクラウンはショルダーを選択する。 d ○ 陶材焼付鋳造冠はショルダー、ベベルドショルダーを選択する。 文獻: 歯科補綴学 51
129 図に示すポンティックの基底面形態はどれか。 	解答: b a × 離底型は完全自浄型で、歯肉との接触はない。 b ○ 船底型は半自浄型の1つで、粘膜にポンティックの最下底部が一点接触する。主に下顎前歯部に用いられる。 c × 鞍状型は非自浄型で、鞍のようにポンティック底面が歯肉と広い面積で接触する。 d × リッジラップ型は半自浄型で、偏側型の1つ。ポンティック基底面の偏側の一部と歯肉頂の一部がT字型に接触する。 文獻: 歯科補綴学 67-69
130 抜歯鉗子の写真(別冊 No. 5)を別に示す。どの部位を抜歯するためのものか。 a 下顎大白歯 b 上顎大白歯 c 下顎前歯 d 上顎小臼歯	解答: b 水久歯用抜歯鉗子は、上顎用と下顎用に分かれており、さらに前歯用、小臼歯用、大白歯用に分けられる。また鉗子で歯を把持した際に歯軸と頸部の長軸が一致するように、顎部と把柄は下顎用はモノアングル(屈曲が1回)であるのに対し、上顎用はバイアングル(屈曲が2回)になっている。 a × b ○ 写真の鉗子はバイアングルであり、大きな歯冠に適合するように顎部の面積が広い。 c × d × 文獻: 口腔外科学・歯科麻酔学 124-129
131 顎骨内囊腫摘出術に用いる器具の写真(別冊 No. 6)を別に示す。この器具の名称はどれか。 a 歯科用鋸匙 b 骨ヤスリ c ゾンデ(消息子) d 骨ノミ	解答: a 写真は歯科用鋸匙であり、抜歯後の不良肉芽の腫脹や嚢胞の摘出時に用いられる。鋸匙のスプーン状になった先端部分で骨面から嚢胞を剝離し、さらに剝離された嚢胞をすくい上げる。 a ○ b × 骨ヤスリは先にヤスリ状の凹みがある。骨整形に用いる。 c × 触診のための器具であり、どのような場所にも適応できるため易屈曲性の金属でつくられ、触診した部位を傷つけることのないよう先端は丸くなっている。 d × 骨ノミは骨を削去したり、分割するとき用いる。 文獻: 口腔外科学・歯科麻酔学 141-146

問題 B	解答・解説
132 完全骨折の説明はどれか。 a 骨折部が露出している。 b 骨折端が完全に離断されている。 c 外力を受けた部位で折れている。 d 骨折線が1本である。	解答: b a× 軟組織が断裂し骨が露出しているのは複雑骨折である。 b○ 骨折線により骨が完全に離断された骨折が完全骨折である。 c× 外力が直接作用した部位の骨折は直達骨折である。 d× 骨折線の数が1カ所のものは単純骨折という。 文献: ポイントチェック④ 39 ▶keyword: 完全骨折、複雑骨折、直達骨折、単純骨折
133 前癌病変はどれか。2つ選べ。 a 白板症 b 紅板症 c カンジダ症 d フォーダイス斑	解答: a, b 口腔領域の前癌病変は白板症と紅板症などで、痛に移行する可能性を有する。 a○ b○ c× カンジダ症は体力の低下や菌交代現象で見られるが、前癌病変とは異なる。 d× フォーダイス斑は主に頬粘膜に現れる異所性の皮脂腺で、黄色の斑点である。病的な意味はない。 文献: ポイントチェック④ 51 ▶keyword: 前癌病変、白板症、紅板症
134 三叉神経痛の症状はどれか。 (1) 麻痺性痙攣 (2) 嚙の形成困難 (3) バトリックの発痛帯の痛み (4) バレーの圧痛点の痛み a(1), (2) b(1), (4) c(2), (3) d(3), (4)	解答: d 三叉神経痛の症状は、口唇など特定の部位に機械的刺激を加えると疼痛が発現するバトリックの発痛帯と、罹患神経枝が穿孔より出る部位を押しさえると圧痛を認めるバレーの圧痛点である。 (1)× 顔面神経麻痺の症状である。 (2)× 顔面神経麻痺の症状である。 (3)○ (4)○ 文献: ポイントチェック④ 51-52 ▶keyword: 三叉神経痛、バトリックの発痛帯、バレーの圧痛点
135 顎関節脱臼で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 大開口が喫機となる。 b 顔面高が短縮する。 c 習慣性にはならない。 d 新鮮例では徒手整復が可能である。	解答: a, d a○ 顎関節脱臼はほとんどが前方への脱臼であり、大開口によって生じる。 b× 顔面は長くなり、下顎前突を呈する。 c× 反復して脱臼を起こす習慣性脱臼となることもある。 d○ 新鮮例では徒手整復が可能であるが、陈旧例では全身麻酔下の整復が必要になることもある。 文献: 口腔外科学・歯科麻酔学 61 ▶keyword: 顎関節脱臼、習慣性脱臼、徒手整復
136 笑気による鎮静法の際に起こる兆候で危険なのはどれか。2つ選べ。 a 息ごらえを起こす。 b 周囲に無関心になる。 c うなり声を起こす。 d 身体が温かくなる。	解答: a, c 精神鎮静法の兆候を理解することは重要である。 a○ 息ごらえは危険な兆候である。 b× 無関心は至適鎮静状態である。 c○ うなり声は危険な兆候である。 d× 身体が温かくなるのは至適鎮静状態である。 文献: 口腔外科・歯科麻酔学 172-175 ▶keyword: 精神鎮静

問題 B	解答・解説
137 小児の心身発達で正しいのはどれか。2つ選べ。 a 生後3カ月頃に体重は出生時の約2倍となる。 b 1歳6カ月になると喃語を発するようになる。 c 2歳までに歩行運動が熟達する。 d 3歳で情動の分化は成人とほぼ同程度に達する。	解答: a, c 小児の各年齢における身体および精神発達についてまとめて覚えておく。 a○ 体重は生後3カ月で出生時の約2倍、1年で約3倍となる。 b× 3カ月頃から喃語が発せられるようになる。 c○ 独り歩きは生後15カ月頃から始まり、2歳では歩行運動が熟達する。 d× 情動の分化が成人とほぼ同程度に達するのは5歳である。 文献: 小児歯科学 12, 17, 19 ▶keyword: 体重、理解語、歩行、情動の分化
138 乳歯の特徴で誤っているのはどれか。 a 歯冠に比べて歯根が短い。 b 色調は青白色を帯びている。 c エナメル質の前酸性が低い。 d 象牙質の有機質含有量が多い。	解答: a 永久歯と比較した乳歯の特徴は基本項目であり、まとめて覚えておく。 a× 歯冠長に比べて歯根長は長い。 b○ 乳歯の色調は白色ないし青白色であり、黄色味を帯びた永久歯と異なる。 c○ 乳歯の化学反応性は永久歯よりも高く、そのため酸への耐性は低い。 d○ 乳歯は永久歯に比べて、エナメル質、象牙質ともに有機質含有量が多い。 文献: 小児歯科学 53-58 ポイントチェック④ 100 ▶keyword: 乳歯の形態的特徴、乳歯歯質の特徴
139 乳歯の根尖病巣が原因で起こるのはどれか。 a リガ・フェーデ病 b 小帯強直症 c ターナー歯 d ベドナーアフタ	解答: c 小児の主な疾患異常についてまとめて覚えておく。 a× 萌出直後の歯の切縁によって、舌小帯部にできる機械性潰瘍である。機械的刺激で生ずる。 b× 舌小帯の短縮により舌の運動が制限され、舌を突出させると舌尖部がU字形に引きつれるような状態を示す。授乳障害、発音障害を起こす場合がある。 c○ 乳歯の根尖病巣が原因で起こる後継歯のエナメル質減形成のことであり、ターナー歯とよばれる。 d× 機械的刺激で口蓋部に生じる梅毒性潰瘍である。哺乳時のゴム乳首の不適合により起こるといわれている。 文献: 小児歯科学 41, 71 ポイントチェック④ 95 ▶keyword: リガ・フェーデ病、小帯強直症、ターナー歯、ベドナーアフタ
140 乳歯齶蝕について正しいのはどれか。2つ選べ。 a 下顎乳前歯部に多発する。 b 好発部位は年齢とともに変化しない。 c 自覚症状がなくても歯髄まで達していることがある。 d 第二象牙質の形成が滞発である。	解答: c, d 乳歯齶蝕の特徴、罹患型、好発部位、為害作用をそれぞれまとめておくことが必要である。 a× 下顎乳前歯部は最も齶蝕の少ない部位である。 b× 乳歯齶蝕の好発部位は年齢とともに変化する。3歳頃までは上顎乳切歯部、5歳頃では乳前歯部の罹患率が高くなる。 c○ 自覚症状がなくても歯髄まで達していることがある。 d○ 第二象牙質の形成が滞発である。 文献: 小児歯科学 59-65 ポイントチェック④ 100-101 ▶keyword: 乳歯齶蝕の特徴、後発部位

問題 B		解答・解説	
141	<p>乳歯列の模式図を示す。矢印で示すのはどれか。</p>  <p>a リーウェイススペース b 顎間空隙 c 発育空隙 d 歯長空隙</p>	<p>解答: d</p> <p>歯列の発育に関与する空隙についてはまとめて覚えることが重要である。</p> <p>a × リーウェイススペースは乳歯側方歯群の歯冠近遠心幅径の総和とその後継永久歯の歯冠近遠心幅径の総和の差。</p> <p>b × 顎間空隙は無歯期にみられる重歯部歯槽基間の空隙。</p> <p>c × 発育空隙乳歯列にみられる歯長空隙以外の空隙。</p> <p>d ○ 歯長空隙は乳歯列にみられる上顎乳側切歯・乳犬歯間、下顎乳犬歯・第一乳臼歯間にみられる空隙。</p> <p>文献: 小児歯科学 43-50 ポイントチェック④ 92-94</p>	<p>▶ keyword: 発育空隙、歯長空隙、顎間空隙、リーウェイススペース</p>
142	<p>乳歯の外傷で正しいのはどれか。</p> <p>a 好発年齢は5歳頃である。 b 歯の破折が多い。 c 受傷部位は上顎前歯が多い。 d 受傷頻度は男児に比べて女児が2倍である。</p>	<p>解答: c</p> <p>a × 好発年齢は1~3歳である。 b × 脱臼が多い。主な症状としては動揺および、転位、埋入、挺出などの不完全脱臼、脱落、脱離などの完全脱臼がある。 c ○ d × 女児より男児が2倍である。</p> <p>文献: 小児歯科学 168-169</p>	<p>▶ keyword: 乳歯、外傷</p>
143	<p>小児の薬物療法について正しいのはどれか。</p> <p>a 薬用量は体表面積を基準にした換算表が推奨される。 b 副作用が多いのは経口投与である。 c 薬物に対する感受性は低い。 d 薬物に対する反応は個人差が少ない。</p>	<p>解答: a</p> <p>a ○ 小児の薬用量は成人量を基準に換算する。Harnackの換算表が推奨されている。 b × 有効で副作用が少ないのは経口投与である。 c × 薬物に対する感受性は高い。 d × 薬物に対する反応は個人差が大きい。</p> <p>文献: 小児歯科学 170-171</p>	<p>▶ keyword: 小児、薬物療法</p>

歯科矯正学

144	<p>I腔内写真(別冊 No. 7)を別に示す。この咬合の分類はどれか。</p> <p>a Angle I級 b Angle II級1類 c Angle II級2類 d Angle III級</p>	<p>解答: d</p> <p>Angleの不正咬合の分類では、上顎第一大臼歯が正しい位置にあるものと仮定して、それに対する下顎第一大臼歯の近遠心的位置でI級からIII級に分ける。正しい上下顎第一大臼歯の咬合は上顎近心頬側咬頭三角隆線が下顎第一大臼歯の頬面溝に咬合する。</p> <p>a × Angle I級は近遠心関係が正しい位置にあるもの。 b × Angle II級は下顎が上顎に対して遠心に咬合する。II級1類は上顎前歯が突出するもので、口呼吸と関係する。 c × II級2類は上顎前歯の後退を伴い、正常な鼻呼吸をするものである。 d ○ Angle III級は下顎が上顎に対して近心に咬合する。写真はAngle III級である。</p> <p>文献: 歯科矯正学 33-34</p>	<p>▶ keyword: Angleの不正咬合の分類</p>
-----	---	---	---------------------------------

問題 B		解答・解説	
145	<p>歯の移動の際に骨芽細胞が現れる部位はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 圧迫側 b 牽引側 c 骨吸収部 d 骨添加部</p>	<p>解答: b, d</p> <p>歯に矯正力を加えると、圧迫側では歯根膜が押されて圧縮され、牽引側では歯根膜が引っ張られて伸展される。</p> <p>a × 圧迫側では破骨細胞が現れ、歯槽骨を吸収する。 b ○ 牽引側では骨芽細胞が現れ、骨を添加する。 c × 骨吸収部では破骨細胞が現れ、歯槽骨を吸収する。 d ○ 骨添加部では骨芽細胞が現れ、骨を添加する。</p> <p>文献: 歯科矯正学 57-60 ポイントチェック④ 135</p>	<p>▶ keyword: 歯の移動による組織変化</p>
146	<p>写真(別冊 No. 8)を別に示す。この器具の名称はどれか。</p> <p>a ヤングブライヤー b ユーティリティブライヤー c バードピークブライヤー d バンドカンタリングブライヤー</p>	<p>解答: a</p> <p>a ○ 写真のブライヤーはヤングブライヤーで、三段になった円錐と四角錐の先端を有し、リチーナや舌側弧線装置など太めのワイヤーの屈曲に用いる。 b × ユーティリティブライヤーは先端がカーブを描くように曲がっており、結紮、遠心端の処理、ワイヤーの把持など多用途に用いられる。 c × バードピークブライヤーは先端が円錐と四角錐になっており、矯正線を屈曲するのに用いる。 d × バンドカンタリングブライヤーの先端は凹面と凸面になっており、先端の周りにバンドをはき込んで成型する(形を整える)のに用いる。</p> <p>文献: 歯科矯正学 77-87</p>	<p>▶ keyword: ブライヤー</p>
147	<p>指しゃぶりが原因となる不正咬合はどれか。</p> <p>a 反対咬合 b 開咬 c 嚙生 d 切端咬合</p>	<p>解答: b</p> <p>指しゃぶりの多くは樹指吸吮癖であり、上顎前歯の唇側傾斜や上下顎前歯の低位により上顎前突や開咬になりやすい。</p> <p>a × b ○ c × d ×</p> <p>文献: 歯科矯正学 45-58</p>	<p>▶ keyword: 指しゃぶり、不正咬合</p>
148	<p>口腔内写真(別冊 No. 9)を別に示す。正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a Hellmanの歯齡はIII Bである。 b ターミナルプレーンは近心階微型である。 c オーバーバイトはプラスである。 d オーバージェットはプラスである。</p>	<p>解答: b, d</p> <p>a × Hellmanの歯齡はIII Aである。 b ○ c × オーバーバイトはマイナスである。 d ○</p> <p>文献: 歯科矯正学 22-23 ポイントチェック④ 4</p>	<p>▶ keyword: Hellmanの歯齡、開咬、ターミナルプレーン</p>
149	<p>顎整形力を発揮する矯正装置はどれか。</p> <p>a ヘッドギア b 舌側弧線装置 c エッジワイズ装置 d リップバンパー</p>	<p>解答: a</p> <p>顎整形力とは、顎骨の形態変化に作用する力をいう。</p> <p>a ○ 上顎前方成長の抑制のために顎整形力が作用する。 b × 舌側弧線装置は補助弾力の力で歯を移動させる。 c × エッジワイズ装置はアーチワイヤーの復元力などによって歯を移動させる。 d × リップバンパーは口腔の機能力によって歯の移動の防止や咬合癖などの悪習癖の除去に用いられる。</p> <p>文献: 歯科矯正学 57、93-101</p>	<p>▶ keyword: 顎整形力、矯正装置</p>

問題 B		解答・解説	
<p>150 矯正装置の写真(別冊 No.10)を別に示す。この矯正装置の主な目的はどれか。</p> <p>a 舌癖の防止 b 機能的矯正力の發揮 c 歯列弓の側方拡大 d 大臼歯の遠心移動</p> <p>▶keyword: ネジ付き拡大装置、可撤式拡大床、緩徐拡大装置</p>	<p>解答: c</p> <p>写真は、混合歯列期の士顎に装着された可撤式床矯正装置の一種で可撤式拡大床である。</p> <p>a × b × c ○ ネジを後方に回転することにより、歯列弓を側方に拡大する。 d ×</p> <p>文献: 歯科矯正学 97-100 ポイントチェック④ 149</p>		
歯科診療補助			
<p>151 歯科医師の指示のもとに歯科衛生士が診療補助として行う対面直接行為として可能なものはどれか。</p> <p>(1) ラバーダム防湿 (2) 酸化象牙質の除去 (3) 直接複歯 (4) 充填物の研磨</p> <p>a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)</p> <p>▶keyword: 対面直接行為</p>	<p>解答: b</p> <p>歯科衛生士が行う歯科診療の補助は法的に規定された行為であり、主治の歯科医師の指示により行われる患者への対面・直接行為である。診療の補助の範囲を決める基準となるものは、① 歯科医学的判断を特に必要としない範囲、② 社会習慣として対的医療行為とみなされない範囲、③ 職業教育の内容と深度に基づく範囲、④ 歯科衛生士個人の経験ないし能力に基づく範囲である。例えば、ラバーダム防湿、充填物の研磨は歯科衛生士が行うことが可能な対面・直接行為である。</p> <p>(1) ○ (2) × 酸化象牙質の除去は診療行為である。 (3) × 直接複歯は診療行為である。 (4) ○</p> <p>文献: 歯科診療補助 3-6 ポイントチェック⑤ 64</p>		
<p>152 印象材とその用途について正しい組合せはどれか。2つ選べ。</p> <p>a モデリングコンパウンド——ブリッジの印象 b アルジネート印象材——スタディモデルの印象 c シリコンゴム質印象材——クラウンの印象 d 酸化亜鉛ユーージノール印象材——部分床義歯の印象</p> <p>▶keyword: 印象材</p>	<p>解答: b, c</p> <p>a × モデリングコンパウンドは非弾性印象材であり、無歯顎の印象採得、咬合印象採得、筋(圧)形成ないしは辺縁形成に用いられる。既製トレーにモデリングコンパウンドを盛り上げて一次印象を行い、これを個人トレーの代わりに使用する場合もある。</p> <p>b ○ c ○ シリコンゴム質印象材はインレー、クラウン、ブリッジ、義歯などの精密印象採得などに用いられる。 d × 酸化亜鉛ユーージノール印象材は非弾性の精密印象材であり、全部床義歯の印象採得などに用いられる。</p> <p>文献: 歯科材料の知識と取り扱い 108-122、150-156 歯科診療補助 87 ポイントチェック⑤ 69-74</p>		
<p>153 光重合型コンポジットレジンについて正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 可視光線を照射するとカンファークイノンが活性化し重合が開始される。 b 歯科用可視光線照射機の光源はほとんどが紫外線ランプである。 c 重合硬化に適切な波長は 470~480 nm である。 d 2ペーストタイプのものが一般的である。</p> <p>▶keyword: 光重合型コンポジットレジン</p>	<p>解答: a, c</p> <p>光重合型コンポジットレジン使用頻度が高く操作性も優れている。重合機式を理解する。</p> <p>a ○ b × 可視光線照射機の光源は、ほとんどがハロゲンランプである。 c ○ d × 光重合型は1ペーストタイプである。</p> <p>文献: 歯科材料の知識と取り扱い 38-43 ポイントチェック⑥ 72</p>		

問題 B		解答・解説	
<p>154 合着・接着セメントで酸化亜鉛を粉末成分とするのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a グラスアイオノマーセメント b カルボキシレートセメント c リン酸亜鉛セメント d 接着性レジンセメント</p> <p>▶keyword: 合着・接着セメント、酸化亜鉛</p>	<p>解答: b, c</p> <p>a × 粉末成分はフルオロアルミノシリケートガラスで、この原料はシリカ、アルミナ、フッ化カルシウム、フッ化アルミニウムなどである。 b ○ c ○ d × 接着性レジンセメントには 4-META 系とリン酸エステル系がある。4-META 系の粉末成分は PMMA で、リン酸エステル系は無機質フィラーである。</p> <p>文献: 歯科材料の知識と取り扱い 181 ポイントチェック⑥ 69-70</p>		
<p>155 術者の姿勢について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 原則として作業点は術者の利き手よりにする。 b 原則として加術部位の高さは術者の肘と腋窩の間にする。 c 明視の距離は 40~55 cm である。 d 視線は垂直から 20~30° である。</p> <p>▶keyword: 術者の姿勢</p>	<p>解答: b, d</p> <p>歯科衛生士は歯科診療の一部(患者への直接行為または相対的診療行為)を行うことがある。術者として操作しやすく、身体に無理のかからない姿勢を身につけなければならない。</p> <p>a × 作業点は術者の身体の中央にもってくる。 b ○ c × 明視の距離は 25~30 cm である。 d ○</p> <p>文献: 歯科診療補助 10-11 ポイントチェック⑤ 75</p>		
<p>156 消毒薬で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a グルタルアルデヒドは 2% 濃度で器具に使用する。 b 塩化ベンゼンニウムは 0.1% 濃度で器具に使用する。 c クレゾール石けん液は HCV に有効である。 d 次亜塩素酸ナトリウムは 0.02% 濃度で粘膜に使用する。</p> <p>▶keyword: 薬剤の用途および濃度、使用期限</p>	<p>解答: a, b</p> <p>消毒薬の用途と使用濃度を理解し、効果的な方法を選択しなければならない。</p> <p>a ○ HBV、HIV に汚染された器具に 2% の濃度で使用される。 b ○ 逆性石けん系で、0.1% の濃度で手指の消毒にも使用される。 c × ウイルスには無効である。 d × 0.02~0.05% の濃度で器具に使用される。</p> <p>文献: 歯科診療補助 118-120 ポイントチェック⑤ 81</p>		
<p>157 〇内に入る語句で正しい組合せはどれか。</p> <p>医療機関から発生する①②には容器にバイオハザードマークを用いて他の廃棄物と区別する。バイオハザードマークの色によって内容物が分別される。③は血液など液状のもの、④は血液などが付着した固形物、⑤は注射針などの鋭利なものを廃棄する。</p> <p>① ② ③ ④ a 産業廃棄物 橙色 黄色 赤色 b 感染性廃棄物 赤色 橙色 黄色 c 産業廃棄物 黄色 赤色 橙色 d 感染性廃棄物 赤色 黄色 橙色</p> <p>▶keyword: 感染性廃棄物 バイオハザードマーク</p>	<p>解答: b</p> <p>医療機関から排出される廃棄物で、人の健康または生活環境に被害を生じる恐れのあるものを感染性廃棄物として管理・処理が決められている。感染性廃棄物を入れる容器にはバイオハザードマークをつけて他の廃棄物と区別する。感染性廃棄物の性状に応じてマークの色を分ける。赤色:血液など液状または泥状のもの、橙色:血液などの付着した固形物、黄色:注射針など鋭利なものとして定められている。</p> <p>a × b ○ c × d ×</p> <p>文献: 歯科診療補助 32 ポイントチェック⑤ 83</p>		

問題ID	解答・解説
158	<p>写真(別冊 No.11)を別に示す。上顎右側第一大臼歯のラバーダム防漏を行うことになった。適切なクランプはどれか。</p> <p>a ① #201 b ② #202 c ③ #207 d ④ #210 a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶ keyword: クランプ</p>
159	<p>注消図より、111の隣接面のコンポジットレジン研磨の指図された。使用する器具はどれか。2つ選べ。</p> <p>a ホワイトポイント b アブレーションポイント c ポリッシングストリップス d フェニッシングバー</p> <p>▶ keyword: コンポジットレジン修復、研磨</p>
160	<p>ラミネートベニア修復で正しいのはどれか。</p> <p>(1) レジンラミネートベニアは接着性レジンで接着する。 (2) 試適・色あわせ終了後、防漏を行う。 (3) 矮小歯は禁忌症である。 (4) 歯質切削量が多い。</p> <p>a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)</p> <p>▶ keyword: ラミネートベニア修復</p>

問題ID	解答・解説
161	<p>根管治療中に歯科医師より#70のリーマーを渡すよう指示があった。写真(別冊 No.12)を別に示す。正しいのはどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶ keyword: ファイルの太さ、カラーコード</p>
162	<p>写真(別冊 No.13)を別に示す。根管充填に使用する器具はどれか。2つ選べ。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶ keyword: 根管充填</p>
163	<p>写真(別冊 No.14)を別に示す。この器具を使用する処置はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 組織再生誘導法(GTR法) b 歯肉切除術 c 新附着外科術 d 歯周ポケット掘削術</p> <p>▶ keyword: ポケットマーカ</p>

解答: d
ファイルには、リーマー、Hファイル、Kファイルがある。ファイルの太さとカラーコードは国際規格(ISO規格)で基準が定められている。太さは号数で表され、#10から#60までは5ずつ大きくなり、#60以上は10ずつ大きくなる。カラーコードと号数の対応は以下である。

カラーコード	銀	紫	白	黄	赤	青	緑	黒
	#8	#10	#15	#20	#25	#30	#35	#40
母			#45	#50	#55	#60	#70	#80
			#90	#100	#110	#120	#130	#140

- a × #80 リーマー
b × #80K ファイル
c × #70H ファイル
d ○ #70 リーマー

文献: 保存修復学・歯内療法学 187, 243

解答: b, d
a × ルーツエッジピンセット: 外科器具。鼻腔や上顎洞内の処置に使用する。
b ○ ルートチャンネルプラグ: 根管充填に使用する。垂直加圧充填法に用いる。
c × ラルゴリーマー: 根管口拡大用器具
d ○ レンツロ(スパイラルルートチャンネルファイラー): 根管内へ根管充填用糊剤やシーラーを挿入するための器具。

文献: 歯科診療補助 155
保存修復学・歯内療法学 214

解答: b, c
写真はポケットマーカ(別名: クレンカプランのピンセット)であり、ポケット底の位置を歯肉表面に示し、切開の目安となる位置を明記するための器具。ピンセットの一方の先に鉤がついており、他方をポケット底まで入れてパンチングすると、この鉤が歯肉の表面に出血点をつけ、ポケット底部の位置を示すことができる。

a ×
b ○
c ○
d ×

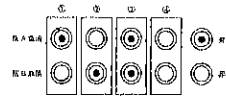

文献: 歯科診療補助 157-159
歯科器械の知識と取り扱い 98
ポイントチェック ⑤ 97

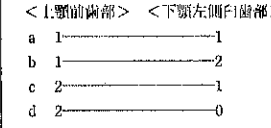
問題 B		解答・解説	
164	<p>概形印象を採得する際の注意点で誤っているのはどれか。</p> <p>a 嘔吐反射の有無を問診にて確認する。</p> <p>b トレー挿入後は鼻呼吸をさせる。</p> <p>c トレーは前歯部から前歯部へと圧接していく。</p> <p>d 口腔内によく適合する既製トレーを準備する。</p>	<p>解答：c</p> <p>概形印象とは印象を行う対象の概形を採得する印象で、通常は既製トレーとアルジネット印象材で行われる。研究模型や個人トレーの製作などに用いられる。</p> <p>a ○ 嘔吐反射の既往がある場合は、処置前の表面麻酔やトレーの印象材の量を最小限にしたり、下顎から印象を行うなどの対応をとる。</p> <p>b ○ 患者の姿勢をやや下向きにして、ゆっくり鼻呼吸をさせる。</p> <p>c × トレー挿入後、口唇を手前に引きながら、最後白歯から圧接を始めて前歯部へと気泡を抜くように歯列に圧接していく。</p> <p>d ○ 既製トレーを使用する場合は、患者の口腔内で試適を行い最適なものを選択する。ユーティリティーワックスなどで調整することもある。</p>	<p>文獻：歯科補綴学 94-95 ポイントチェック⑩ 105</p>
▶keyword：印象採得 概形印象			
165	<p>総義歯の咬合採得に必要なのはどれか。</p> <p>a ノギス</p> <p>b 咬合床</p> <p>c ワックスパチュラ</p> <p>d 咬合紙</p>	<p>解答：d</p> <p>咬合採得時には、咬合床、咬合平面板、咬合床形成用ヘラ、技工用ノギス、パラフィンワックス、彫刻刀、ワックスパチュラ、フェイスボーなどが必要になる。</p> <p>a ○</p> <p>b ○</p> <p>c ○</p> <p>d × 部分床義歯や補綴物の装着時に使用する。</p>	<p>文獻：歯科補綴学 118-123 歯科診療補助 191 ポイントチェック⑩ 107</p>
▶keyword：咬合採得			
166	<p>65歳の男性。初めて部分床義歯を装着する。患者指導で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 食事は硬いものから食べすみやかに義歯に慣れるようにする。</p> <p>b 義歯の着脱は指で着脱方向に沿って行う。</p> <p>c 就寝時は義歯をはずし水を入れた容器内に保管する。</p> <p>d 食後は義歯を装着した状態でブラッシングを行う。</p>	<p>解答：b, c</p> <p>義歯の装着時に取り扱い方法や清掃方法を説明することは、齶蝕や歯周疾患の罹患を予防し、義歯により回復した良好な状態を長く維持するためにも大切である。</p> <p>a × 食事は硬いものは細かくして慣らし、粘着性のあるものは避ける。</p> <p>b ○ 装着時に着脱の練習をしてもらい、取り扱いに慣れるようにする。</p> <p>c ○ 就寝時には原則として義歯をはずし、口腔粘膜の圧迫を和らげるようにする。</p> <p>d × 義歯にも食物残渣や歯垢がつくので、必ずして義歯用ブラシで清掃する。残存菌も丁寧に清掃する。</p>	<p>文獻：歯科診療補助 194 歯科補綴学 105-106 ポイントチェック⑩ 109</p>
▶keyword：局部床義歯、患者に対する指導			
167	<p>注射針について正しいのはどれか。</p> <p>a 伝達麻酔用注射針の長さは鼓膜麻酔用のものより長い。</p> <p>b 注射針は患者ごとに交換し薬剤は繰り返し使用する。</p> <p>c 使用後の注射針のキャップをするときは両手で行う。</p> <p>d 歯科用注射針の先端は皮下用のものより鋭い。</p>	<p>解答：a</p> <p>a ○ 伝達麻酔では、針を深く刺入するため、30mm前後の注射針を使用する。鼓膜麻酔用の針は20mm前後。</p> <p>b × 患者の血液などが薬剤内に逆流するので、必ず交換が必要である。</p> <p>c × キャップをする際、両手で行うと針刺し事故を起こしやすい。キャップを置き、リキャップする。</p> <p>d × 歯科用は骨にあたって針先がめくれ上がるのを防ぐため、鈍角にしてある。</p>	<p>文獻：口腔外科学・歯科麻酔学 167-169 歯科診療補助 98</p>
▶keyword：注射器			

問題 B		解答・解説	
168	<p>離拔牙に用いられる器材とその用途について正しい組合せはどれか。</p> <p>(1) 挺子(エレベーター)——患歯の脱臼</p> <p>(2) 破骨鉗子——歯根分離</p> <p>(3) 鋸匙——歯槽骨削除</p> <p>(4) 歯肉バサミ——歯肉整形</p> <p>a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)</p>	<p>解答：b</p> <p>(1) ○ 挺子は、抜去すべき歯の部位および状態により選択する。直、曲型がある。</p> <p>(2) × 破骨鉗子は歯槽骨を削除、整形するものである。</p> <p>(3) × 鋸匙は不良肉芽を除去するものである。</p> <p>(4) ○</p>	<p>文獻：口腔外科学・歯科麻酔学 128-131 歯科診療補助 179-180 歯科器械の知識と取り扱い 155, 162-163, 165</p>
▶keyword：離拔牙			
169	<p>縫合針の使用用途で正しいのはどれか。</p> <p>a 顔面皮膚の縫合には丸針を用いる。</p> <p>b 頬粘膜の縫合には彎針を用いる。</p> <p>c 口底粘膜の縫合には角針を用いる。</p> <p>d 歯肉乳頭部の縫合には彎針を用いる。</p>	<p>解答：b</p> <p>大きさ、形状、糸穴の有無などによって多くの種類があり、縫合する部位のスペースの広さ、凹凸の状況および組織の弾力によって最も適したものを選択される。彎針は彎曲した針で、歯肉・口腔粘膜一般に使用される。</p> <p>a × 皮膚や角化した硬い口腔粘膜などに角針を用いる。</p> <p>b ○</p> <p>c × 軟らかく裂けやすい口底粘膜の縫合には彎針や丸針を用いる。</p> <p>d × 歯肉乳頭部の頬舌的な縫合には直針を用いる。</p>	<p>文獻：歯科診療補助 103 歯科器械の知識と取り扱い 165 口腔外科学・歯科麻酔学 127</p>
▶keyword：縫合針			
170	<p>拔牙後の患者に対する注意として正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 麻酔の効果が残っている間は口唇などを咬みやすいので注意する。</p> <p>b 出血時の応急処置(圧迫止血)法を教えておく。</p> <p>c 処方された鎮痛剤は必ず全部服用するよう説明する。</p> <p>d 抜歯を行った当日は飲食を禁止する。</p>	<p>解答：a, b</p> <p>術後の患者は、疼痛や出血、腫脹などの予後負担がかかることが多い。その負担や不安を軽減するよう配慮し、予後が良好となるよう術後の注意事項は極めて重要である。</p> <p>a ○ 麻酔効果が確実に切れるまでは食事も控え、無意識に粘膜などに咬傷をつくらないように指導する。</p> <p>b ○ 帰宅後、出血が続く場合は圧迫止血を行い、それでも止血しないときは再来院するよう指導する。</p> <p>c × 投薬された薬は指示に従って服用し、副作用など異常が認められた場合には連絡し、指示を受けるよう指導する。</p> <p>d × 禁止事項として、飲酒、入浴、激しい運動があげられる。飲酒は血管を拡張させるので避けたほうが望ましいが、通常の食事については大きな制限はない。</p>	<p>文獻：ポイントチェック⑩ 114</p>
▶keyword：拔牙後の注意			

問題B		解答・解説	
171	<p>小児患者への一般的対応で誤っているのはどれか。</p> <p>a 治療はできるだけ短い時間で終了するよう配慮する。</p> <p>b 低年齢児の治療は最も精神的に安定した午後の時間帯が適している。</p> <p>c 3~4歳児に対して診療の説明を行う際は代用語を用いると有効である。</p> <p>d 治療中のスキンシップは患児の不安を軽減する。</p>	<p>解答: b</p> <p>小児の対応の基本となるものは、小児と術者、保護者の3者間に信頼関係が成立していること、小児に歯科治療の必要性を理解させること、さらに診療に対する積極的な協力態度を導き出すことである。そのためには、小児の発達心理学的な特徴を把握し、小児とのコミュニケーションの取り方や治療環境(時間、手順、治療、時間の配慮など)について十分留意する必要がある。さらに、行動変容法を用いることも必要である。</p> <p>a ○</p> <p>b × 低年齢児の治療は、最も精神的に安定している午前中がよい。</p> <p>c ○ 診療行為や診療器具を小児が日常生活で慣れている言葉に置き換えて説明し、治療に興味をもつよう動機づけを行う。</p> <p>d ○ 患児の手を握ったり、頭をなでることは親近感を増大させ不安を軽減するのに有効な手段である。</p>	<p>文献: 小児歯科学 102-108 ポイントチェック⑤ 117</p>
▶ keyword: 小児患者への対応			
172	<p>小児への対応において行動療法(行動変容法)的対応でないのはどれか。</p> <p>a モデリング法</p> <p>b ハンドオーバーマウス法</p> <p>c トークンエコノミー法</p> <p>d tell show do (TSD) 法</p>	<p>解答: b</p> <p>小児への対応として行動療法(行動変容法)的対応法には tell show do (TSD) 法、モデリング法、トークンエコノミー法があり、抑制的対応法にはハンドオーバーマウス法、抑制具による方法、開口法がある。</p> <p>a ○</p> <p>b × 術者の話を聞き入れようとしない小児に対して行う、抑制的対応法である。</p> <p>c ○</p> <p>d ○</p>	<p>文献: 小児歯科学 114-117</p>
▶ keyword: 行動療法(行動変容法)的対応法			
173	<p>小児歯科治療時の開口法について適切なのはどれか。</p> <p>(1) 治療時は毎回開口器を使用する。</p> <p>(2) 抑制具を用いる場合、開口器を用いる頻度は高い。</p> <p>(3) 長時間の治療の場合は開口器を使用する。</p> <p>(4) ホワイトヘッドエニングス開口器は上下顎前歯の着床時に適している。</p> <p>a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)</p>	<p>解答: c</p> <p>(1) × 開口器は非協力的あるいは興奮状態の小児や口を閉じやすい小児を開口状態に保つためのものであり、必ずしも毎回使用する必要はない。むしろ、協力すればこのような方法はとらないことをよく説明する。</p> <p>(2) ○</p> <p>(3) ○ 治療時間が長くなる場合、開口による負担を軽減させる。抑制具や開口器を使用する治療は、20分以内で終わるのが望ましい。</p> <p>(4) × ホワイトヘッドエニングス開口器はフックを上下顎前歯部に適合させるので、臼歯部の治療時に適している。</p>	<p>文献: 小児歯科学 118 ポイントチェック⑤ 117</p>
▶ keyword: 開口器			

問題B		解答・解説	
174	<p>器具の写真(別冊 No.15)を別に示す。使用目的との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ①—屈曲曲</p> <p>b ②—結紮・歯間離別</p> <p>c ③—帯環成形</p> <p>d ④—帯環形成</p>	<p>解答: a, c</p> <p>矯正では、装置を作製したり、調節するために多くの種類のプライヤーが使用される。これらのプライヤーは大きく分けると矯正線自由用、矯正線切断用、バンド作製用、矯正線を歯に固定するためのプライヤーなどがある。</p> <p>a ○ ①はヤングプライヤーであり、矯正装置の主線、副線、誘導線の屈曲に多用される。比較的太い(0.5mm以上)ワイヤーの屈曲に使用される。</p> <p>b × ②はバードピックプライヤーであり、エッジワイズ装置(マルチブラケット)で使用する丸線を屈曲する鉗子である。</p> <p>c ○ ③はムシャーンカンタリングプライヤーであり、バンドに虫歯をつける鉗子である。</p> <p>d × ④はバンドリムービングプライヤーであり、バンドを除去する鉗子である。</p>	<p>文献: 歯科矯正学 77-87 ポイントチェック⑥ 119</p>
▶ keyword: プライヤーの種類			
175	<p>ダイレクトボンディング法に必要なものはどれか。</p> <p>a エッチング液</p> <p>b 接着(ボンディング)材</p> <p>c ラバーダム防湿</p> <p>d スケーラー</p>	<p>解答: c</p> <p>a ○ ブラケット、アタッチメントの歯面への接着効果をよくするために行う。</p> <p>b ○ ボンディング材の代表的なものとしては MMA 系と Bis-GMA がある。基本的な操作は変わらない。</p> <p>c × 矯正装置装着の邪魔になり使用できない。しかし、エッチング効果を低下させる歯酸の防湿は重要な操作である。</p> <p>d ○ 硬化後、余剰ボンディング材をスケーラーや研磨バーで削除、研磨する。</p>	<p>文献: 歯科矯正学 97 ポイントチェック⑤ 120</p>
▶ keyword: ダイレクトボンディング法			
176	<p>マルチブラケット装置を装着する患者への注意、説明事項として誤っているのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 装着期間中の口腔衛生管理は患者自身に任せる。</p> <p>b 装置装着前に小窩裂溝磨擦などの予防処置を行うとよい。</p> <p>c 食事は慣れるまで軟らかい物を摂り硬い物は小さく切って食べる。</p> <p>d ワイヤーなどが食い込んだ場合には適宜自分で調整する。</p>	<p>解答: a, d</p> <p>矯正治療中の歯肉予防手段として、装置装着前に臼歯咬合面の小窩裂溝、また上顎前歯舌面窩へ小窩裂溝磨擦を行うとよい。歯面へのフッ化物塗布や洗口、フッ素入り歯磨剤の使用など、歯肉への抵抗性を高めておくことは、矯正治療期間中の歯肉発生による患者とのトラブル防止にもなり、矯正治療効果の一助となる。このようなことから患者への歯肉予防処置の説明は重要である。</p> <p>a × バンド・ブラケット・ワイヤーなど複雑な装置部分の前歯は患者だけでは困難であり、歯科衛生上の定期的な口腔衛生指導・管理は不可欠である。</p> <p>b ○</p> <p>c ○ 装置装着中は痛みが出たりうまく噛むめない状況が出るので、そのような場合には食物の形態を工夫したり、軟らかい物を摂るよう注意する。</p> <p>d × 長年に疼痛が続く場合やブラケットの脱落、アーチワイヤーが歯肉に食い込んだり変形した場合には来院してもらう。</p>	<p>文献: 歯科矯正学 131-146 ポイントチェック⑤ 121</p>
▶ keyword: 矯正患者に対する指導			
177	<p>口内法撮影について正しい組合せはどれか。</p> <p>(1) 平行法—歯槽頂線の観察</p> <p>(2) 咬合法—補綴物の適合状態</p> <p>(3) 咬義法—骨折位置関係の把握</p> <p>(4) 二等分法—根長長の測定</p> <p>a (1), (2) b (1), (4) c (2), (3) d (3), (4)</p>	<p>解答: b</p> <p>(1) ○</p> <p>(2) × 咬合法は、比較的大きな病変の診査や唾行症、埋伏歯、骨折の位置関係の把握などに用いられる。</p> <p>(3) × 咬義法は、隣接面齶歯、歯槽頂線の状態、上下の咬合関係、補綴物の適合状態の把握などに用いられる。</p> <p>(4) ○</p>	<p>文献: 歯科放射線学 41-48, 83-88 ポイントチェック⑥ 122-124</p>
▶ keyword: 口内法撮影			

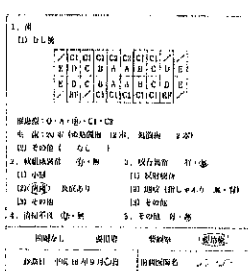
問題 B		解答・解説	
<p>178 5歳の男児。転倒により上顎左右乳中切歯を打撲したため母親と来院。口内法によるエックス線写真撮影を行うことになった。正しいのはどれか。</p> <p>(1) 頭部の固定は上顎の咬合平面を水平にする。</p> <p>(2) 防護衣の着用は確実に行う。</p> <p>(3) フィルムの保持を小児自身が行えない場合は歯科衛生士が行う。</p> <p>(4) 撮影時間は成人の1/4程度である。</p> <p>a (1)、(2) b (1)、(4) c (2)、(3) d (3)、(4)</p> <p>▶ keyword : 口内法撮影</p>	<p>解答 : a</p> <p>(1)○ (2)○ (3)× まず小児自身に根気強く指導することが大切であるが、やむをえない場合は、付添者(母親)に保持を依頼する。この場合は付添者にも防護衣を着用させる。</p> <p>(4)× 撮影時間は、乳歯列で成人の1/2程度、混合歯列の永久歯列は成人と同じである。</p> <p>文献 : 歯科放射線学 92-94</p>		
<p>179 ABO 式血液型の検査結果を図に示す。</p>  <p>A 型はどれか。</p> <p>a ① b ② c ③ d ④</p> <p>▶ keyword : オモテ試験</p>	<p>解答 : a</p> <p>検査を受ける血液の赤血球の A、B 抗原の存在の有無を測定する。オモテ試験は、赤血球と抗 A 抗体または抗 B 抗体との凝集反応で判定する。</p> <p>a ○ 抗 A 血清で凝集が起こり、抗 B 血清では反応しないので、A 型である。</p> <p>b × 抗 B 血清で凝集が起こり、抗 A 血清では反応しないので、B 型である。</p> <p>c × 両方に凝集が起こっているため、AB 型である。</p> <p>d × 両方に凝集が認められないので、O 型である。</p> <p>文献 : 臨床検査法 64-67 ポイントチェック⑤ 130-131</p>		
<p>180 図は一次救命処置の気道確保の方法を示す。</p>  <p>この処置方法はどれか。</p> <p>a エアウェイ b 頭部後屈法 c 下顎挙上法 d オトガイ挙上法</p> <p>▶ keyword : 救急蘇生、気道確保</p>	<p>解答 : d</p> <p>歯科治療中にはなんらかの原因により緊急事態が起きた場合は、救急蘇生法が行われる。一次救命処置は特殊な器具を用いず、①気道の確保、②人工呼吸、③心マッサージを行って、心臓機能を回復させる方法である。気道確保は空気が肺まで通るように気道閉塞の状態を取り除く方法である。</p> <p>a × 気道の確保に器具を使い行う方法である。</p> <p>b × 頭部後屈法とは頭を後ろに反り返らせ、額を後方へ押しさえ、もう一方の手後頭部を挙上する方法である。</p> <p>c × 下顎挙上法とは傷病者の頭側から両手で顔をはさみ、両側から下顎隅角部に指をかけて下顎を前方に突き出す方法である。</p> <p>d ○ 親指を患者の口腔内に入れて下顎の前歯にかけ、下顎全体を引き上げる方法である。</p> <p>文献 : 口腔外科学・歯科麻酔学 183-185 ポイントチェック⑤ 127</p>		

問題 B		解答・解説	
保健指導			
<p>181 歯科保健指導について正しいのはどれか。</p> <p>(1) 口腔の問題点を数多く指摘して患者さんにやる気を起こさせる。</p> <p>(2) 断片的なブラッシング指導は、動機づけに効果的である。</p> <p>(3) 歯科保健指導の内容には食生活へのアドバイスも含まれる。</p> <p>(4) 口腔内の状況を手鏡で見る習慣が身につくことは保健行動への要素といえる。</p> <p>a (1)、(2) b (1)、(4) c (2)、(3) d (3)、(4)</p> <p>▶ keyword : 歯科保健指導、動機づけ、セルフケア</p>	<p>解答 : d</p> <p>(1)× 多くの指摘は患者さんのやる気をなくす場合もある。</p> <p>(2)× 動機づけは患者さんのやる気を起こさせる点を見つけていくことが大切である。</p> <p>(3)○ 生活行動のうち、健康のために好ましい行動を保健行動という。望ましい歯科保健行動には、バランスのとれた食生活を行うことも含まれる。</p> <p>(4)○ 自分の口腔に関心を示すことはセルフケアの一歩といえる。</p> <p>文献 : 歯科保健指導 9-10 ポイントチェック⑤ 154-157</p>		
<p>182 保健指導の過程について正しいのはどれか。</p> <p>(1) アセスメントをする場合、全身的な問題点をあらかじめ把握しておくことが大事である。</p> <p>(2) 指導計画のなかでやりやすいものからはじめる。</p> <p>(3) 指導ははじめの計画通り最後まで実行することが大事である。</p> <p>(4) 対話や問診で聴取した情報は有効である。</p> <p>a (1)、(2) b (1)、(4) c (2)、(3) d (3)、(4)</p> <p>▶ keyword : 情報収集、POS 理論</p>	<p>解答 : b</p> <p>業務記録は、チーム医療で誰が読んでも分かる記録をすることが大事である。その際、情報収集は POS 理論の方法の通り行うことが効果的である。</p> <p>(1)○ 事前に集めた情報をもとに、優先順位の高いものから計画を立てる。</p> <p>(3)× 一定期間ごとに評価し、検討を重ねる必要に応じて指導計画の修正をはかりながら行う。</p> <p>(4)○</p> <p>文献 : ポイントチェック③ 167</p>		
<p>183 ブラークの付着状態の図(別冊 No. 16)を別に示す。</p> <p>OHI-S の評価で正しいのはどれか。</p> <p><上顎前歯部> <下顎左側前歯部></p>  <p>a 1—1 b 1—2 c 2—1 d 2—0</p> <p>▶ keyword : OHI-S、口腔清掃状態</p>	<p>解答 : b</p> <p>OHI-S は口腔清掃状態を評価するためにブラークと蘭石の歯表面における付着量を数値化するものである。診査部位は特定の 6 歯 $\frac{6}{6} \frac{1}{1} \frac{6}{6}$ で、$\frac{6}{6} \frac{1}{1} \frac{6}{6}$ は頰側、$\frac{6}{6} \frac{1}{1} \frac{6}{6}$ は舌側である。</p> <p>a × b ○ 上顎前歯部の診査部位は 1 であり、ブラークの付着は歯面 3 分の 1 以内で 1 点。下顎左側前歯部の診査部位は 6 であり、ブラークの付着は歯面 3 分の 2 なので 2 点である。</p> <p>c × d ×</p> <p>文献 : 歯科保健指導 114-117 口腔衛生学・歯科衛生統計 194-196</p>		

問題 B		解答・解説	
184	<p>写真(別冊 No. 17)を別に示す。確認できるのはどれか。</p> <p>a 歯肉の腫脹 b フェストウーン c 隣接面カリエス d 歯槽骨隆起</p> <p>▶keyword: フェストウーン</p>	<p>解答: a</p> <p>対象を把握するうえで、歯、歯肉など口腔内の状況を詳しく観察することが重要である。写真は上顎前歯部口蓋側面視である。</p> <p>a○ 歯肉部口蓋側全体にわたって歯間乳頭部、辺縁歯肉に腫脹が認められる。 b× フェストウーンは過度のブラッシングなどによって起こるリング状の歯肉の隆起である。 c× d× 歯槽骨の隆起はこの口腔内写真からは特に認められない。</p> <p>文献: 歯科保健指導 187-188 歯周治療学 58-60</p>	
185	<p>摂食・嚥下の過程で正しい組合せはどれか。</p> <p>a 先行期—食物を口腔へ取り込み咀嚼して食塊を形成するまでの期。 b 準備期—食物が生じて食物の情報が発見、嗅覚により大脳に送られ食物の性状を想像する期。 c 口腔期—食塊が口唇から舌根部へと移動する期。 d 咽頭期—食道入口より胃まで食塊が移動する期。</p> <p>▶keyword: 摂食・嚥下</p>	<p>解答: c</p> <p>摂食は食飲が起り、食物を認識して口腔に進び、咀嚼しながら唾液と混和して食塊を形成し、それを舌によって咽頭へ送り(口腔期)、嚥下反射によって飲み込む(咽頭期)ことによって食道・胃に運ばれる(食道期)までの一連の動作をいう。この中で口腔期から食道期までを生理学的な嚥下とよぶ。</p> <p>a× 先行期は食飲が生じて食物の情報が視覚、嗅覚により大脳に送られ、ここでこれまでの経験と照合して食物の性状を想像する。口腔に取り込んでよいものであると判断すると唾液、胃液の分泌準備が始まる。 b× 準備期は食物を口腔へ取り込み、咀嚼して食塊を形成するまでの期。 c○ 食塊が口唇から舌根部へと移動する期。 d× 咽頭に入った食塊が食道に入る期。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本高齢者歯科 27-30</p>	
186	<p>ティーチ (TEACCH) プログラムを応用した歯科保健指導について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 写真や絵を利用する。 b 音楽は TEACCH プログラムに適さない。 c 歯磨きの部位や順序を具体的に表す。 d 本人の好きな絵のカードを並べる。</p> <p>▶keyword: ティーチ (TEACCH) プログラム</p>	<p>解答: a, c</p> <p>ティーチ (TEACCH) プログラムは、ことばだけでなく視覚、聴覚を利用した媒体を用いて、自閉症児や知的障害児に理解を促すことができる療育方法である。歯科保健指導では、人とのコミュニケーションに障害のある自閉症児へ、目で見て理解しやすい写真や絵または音楽などを選択し、歯磨きの部位や順序を示すカードを並べてみせながら、歯磨き指導を行うなどの応用例がある。</p> <p>a○ b× 絵カードに興味を示さない場合、音楽も取り入れることがある。 c○ d× 単に興味をもたせるだけの絵カードでは、保健指導としての効果がない。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本障害者歯科 132-133</p>	

問題 B		解答・解説	
187	<p>歯ブラシを選択する場合に考慮すべき内容はどれか。2つ選べ。</p> <p>a ブラッシング技術 b 歯肉組織・歯の形態 c 使用している歯磨剤の種類 d 伝染性疾患の有無</p> <p>▶keyword: 歯ブラシ、選択基準</p>	<p>解答: a, b</p> <p>歯ブラシを選択するには次のようなことを考えに入れる必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢(口腔の大きさ・歯列) ・歯肉組織・歯の形態 ・修復物や矯正装置の有無 ・個人の技術 ・目的の理解度やブラッシング法の習得の程度 ・動揺歯や残存歯の状態 <p>a○ b○ c× d×</p> <p>文献: 歯科保健指導 138-139</p>	
188	<p>白歯部にブリッジが装着されている患者に対し口腔清掃指導を行う。指導内容で適切なのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a ラバーチップによる歯肉溝の清掃 b 歯間ブラシによる隣接面の清掃 c スーパーフロスによるポンティック基底部の清掃 d トゥースピックによる歯肉マッサージ</p> <p>▶keyword: ブリッジの清掃</p>	<p>解答: b, c</p> <p>a× ラバーチップは、歯間乳頭のマッサージおよび形態修正に使用される。 b○ c○ d× トゥースピックは、歯間乳頭のマッサージおよび歯間部、隣接面の清掃に使用される。ブリッジ装着患者の指導には適切ではない。</p> <p>文献: ポイントチェック⑤ 169-170</p>	
189	<p>14歳の男子。口腔内写真(別冊 No. 18)を別に示す。バスケットボールの部活動を遅くまでがんばっている。夕食後に宿題をしていて気がついたらそのまま眠ってしまいうこともよくある。ブラッシング時、痛みはないが出血することを気にして来院した。歯科保健指導として適切なのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 極軟毛歯ブラシの使用をすすめる。 b 歯間ブラシの使用をすすめる。 c 歯頸部のブラーク除去に留意するよう伝える。 d 夕食を食べたらすぐブラッシングをするとよいと伝える。</p> <p>▶keyword: 歯肉炎</p>	<p>解答: c, d</p> <p>口腔清掃不良により、歯肉炎や腫脹を発症している。また、疲労や不規則な生活も歯肉炎の原因となっている。確実な歯垢除去と歯肉のマッサージを目的としたブラッシング法、生活態度改善のための工夫を助言する必要がある。</p> <p>a× 歯頸部や歯間乳頭部歯肉に腫脹がみられるが、痛みはないようなので、歯ブラシの硬さは軟毛でよい。腫脹がおさまってきたら、歯ブラシの硬さをふつうに変更していくとよい。 b× この場合、歯間ブラシよりデンタルフロスの使用のほうが適切である。 c○ d○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本口腔保健管理 139、146 歯科保健指導 52</p>	

問題B		解答・解説	
<p>190 成人期の口腔清掃に関して適切なのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a オレリーのブラークコントロールレコードは30%台になることを目標とする。</p> <p>b 歯間ブラシやデンタルフロスなど歯ブラシ以外の口腔清掃用具の使用について指導する。</p> <p>c 口臭の原因となる舌苔の除去法を説明する。</p> <p>d 忙しいときには洗口剤でのブラーク除去をすすめる。</p> <p>▶keyword: 成人期の口腔清掃</p>	<p>解答: b, c</p> <p>成人期の歯科保健指導は歯周疾患の予防を重点に行う。しかし、この時期は生活習慣が定まり、仕事に追われて自分の健康管理がおろそかになりがちである。さまざまな視点から健康についての意識を高める工夫が必要である。洗口剤と液状の歯磨剤の違いを確認しておく。</p> <p>a × 10%台になることを目安とする。</p> <p>b ○</p> <p>c ○</p> <p>d × 洗口剤でのブラーク除去は期待できない。歯磨きの補助、口臭予防などの薬用効果を目的として使用する。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本口腔健康管理 129 歯科保健指導ハンドブック 130-131</p>		
<p>191 国民健康・栄養調査の調査項目でないのはどれか。</p> <p>a 医療機関受診状況調査</p> <p>b 生活習慣調査</p> <p>c 栄養摂取状況調査</p> <p>d 身体状況調査</p> <p>▶keyword: 国民健康・栄養調査</p>	<p>解答: a</p> <p>2003年(平成15年)より健康増進法に基づき実施される国民健康・栄養調査は、栄養のみならず生活習慣全般に拡充した調査が行われている。実際の調査は毎年11月に全国の保健所で実施され、栄養摂取状況を中心に、食事状況、生活習慣、身体状況が調査されている。また毎年異なる質問項目による食生活状況調査も行われている。</p> <p>a ×</p> <p>b ○ 食生活、身体活動・運動、休養(睡眠)、飲酒、喫煙、歯の健康などの調査</p> <p>c ○ 世帯員それぞれの食品摂取量、栄養素摂取量、食事状況(欠食・外食)などの調査</p> <p>d ○ 身長、腹囲、血圧、血液検査、1日の運動量などの調査</p> <p>文献: ポイントチェック② 131-133</p>		
<p>192 特定保健用食品について正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 表示には厚生労働省の許可を受ける必要がある。</p> <p>b 食品衛生法に基づいている。</p> <p>c 食生活において特定の目的で摂取する者に対して結果が必ず現れるものをいう。</p> <p>d 特定保健用食品には歯を丈夫にするものがある。</p> <p>▶keyword: 特定保健用食品</p>	<p>解答: a, d</p> <p>保健指導の現場はさまざまあり、健康に関することについての質問をされることも多い。</p> <p>a ○</p> <p>b × 食品添加物は食品衛生法。特定保健用食品は健康増進法に基づいている。</p> <p>c × 特定保健用食品とは、食生活において特定の保健の目的で摂取をする者に対し、摂取することでその目的が期待できるものをいう。</p> <p>d ○ 歯を丈夫にする食品としてキシリトール、などがある。</p> <p>文献: 口腔衛生学・歯科衛生統計 219</p>		

問題B		解答・解説	
<p>193 3歳児歯科健康診査における幼児の診査結果を表に示す。保護者への対応として正しいのはどれか。2つ選べ。</p>  <p>a 歯磨きの回数、時間、方法を確認する。</p> <p>b 甘い物の多量摂取が齲蝕の最大の原因であることを話す。</p> <p>c 広範囲にわたる齲蝕の進行の責任を追求する。</p> <p>d 永久歯への影響について話す。</p> <p>▶keyword: 3歳児歯科健康診査、歯科保健行動</p>	<p>解答: a, d</p> <p>a ○</p> <p>b × 砂糖の摂取は、齲蝕の一因ではあるが、量だけでなく内容や摂取方法などを確認し、また他の要因についても確認したうえで、指導することが必要である。</p> <p>c × 齲蝕が重篤な状態になったことは、生活習慣など子育ての影響が大きい。しかし、一方的に責任を追究するのではなく、問題点を確認し自覚できるように援助しながら指導していくことが大切である。</p> <p>d ○</p> <p>文献: 歯科保健指導 48-50 ポイントチェック⑥ 182-183</p>		
<p>194 誤っているのはどれか。</p> <p>a メインテナンスでは治療の途中で来院しなくなった患者に対して再治療を行う。</p> <p>b カウンセリングでは相手の話を聞き受容する対応法をとる。</p> <p>c インフォームドコンセントでは患者に対し治療等に関する十分な説明を行った後に患者から同意を得る。</p> <p>d リコールでは治療終了後に一定の間隔で来院を促す。</p> <p>▶keyword: リコール、メインテナンス、インフォームドコンセント、カウンセリング</p>	<p>解答: a</p> <p>a × 最終的治療が終了しても定期的にコントロールをして、再発を防止する。再発しても早期に治療することで、その破壊を最小限に抑える。</p> <p>b ○</p> <p>c ○</p> <p>d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本歯科医療倫理 23-32 ポイントチェック⑥ 99</p>		

問題 B		解答・解説
195	<p>歯科衛生士が行う業務の内容と場の組合せで正しいのはどれか。</p> <p>(1) 保健所——難病・障害者等への歯科保健指導</p> <p>(2) 保健所——妊産婦・乳幼児に対する歯科保健指導</p> <p>(3) 市町村保健センター——地域の歯科衛生士に対する技術的指導・支援</p> <p>(4) 市町村保健センター——老人保健事業の実施</p> <p>a (1)、(2) b (1)、(4) c (2)、(3) d (3)、(4)</p>	<p>解答: b</p> <p>保健所は、専門的、広域的な対応が必要な対人保健サービスや保健医療情報サービスの実施機関、二次保健医療圏における地域保健医療計画の推進機関、保健関係者の研修機関へと移行しつつある。一般的な対人保健サービスは、市町村保健センターで行われている。最近、市町村に勤務する歯科衛生士が増えてきている。</p> <p>(1)○</p> <p>(2)× 妊産婦・乳幼児に対する口腔保健教育、歯科健康相談は市町村保健センターで行われている。</p> <p>(3)× 保健所に勤務する歯科衛生士の役割である。</p> <p>(4)○</p> <p>文献: ポイントチェック⑥ 188 口腔衛生学・歯科衛生統計 133-135</p> <p>▶ keyword: 保健所、市町村保健センター</p>
196	<p>事業所における健康教育で正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a 指導の内容は個別予防が中心になる。</p> <p>b 全身状態と関連づけた指導内容にするとよい。</p> <p>c 健康保険組合が実施する場合がある。</p> <p>d 健康診断と同時に行うものである。</p>	<p>解答: b、c</p> <p>事業所の従業員の健康管理は、労働安全衛生法に基づいて衛生管理者が主管している。また、健康保健法に基づいて健康保険組合が行う事業もあるが、どちらも口腔保健教育活動の場である。</p> <p>a × 対象者が成人であるため、歯周病予防を中心とした指導が中心になる。</p> <p>b ○ 成人期には全身疾患と口腔保健を関連づけた指導は有効である。</p> <p>c ○ 衛生管理者が主管しているが、健康保険組合が行う事業もある。</p> <p>d × 健康診断に付随して行われることもある。</p> <p>文献: 歯科保健指導 88 ポイントチェック⑥ 189</p> <p>▶ keyword: 事業所</p>
197	<p>85歳の男性。軽度の認知症があるが介護保険の認定を受けて在宅で生活をしている。最近、食欲が低下してきたので入れ歯があていないのではないかと家族からの相談を受けた担当のケアマネジャーから訪問歯科治療を依頼された。正しいのはどれか。</p> <p>a 依頼を受けすぐに歯科医師とともに訪問した。</p> <p>b 入れ歯の使用を中止し飲み込みやすい食事への変更を勧めた。</p> <p>c ケアマネジャーに連絡し事前に全身状態、生活環境などの情報を得た。</p> <p>d 歯科治療終了後に週1回自宅を訪問し家族にブラッシング指導を行うことを約束した。</p>	<p>解答: c</p> <p>要介護者の家族から医療相談があった場合、ケアマネジャーが中心となって作成されたケアプランに基づいて訪問歯科治療や指導が行われている。訪問指導は、さまざまな環境、状況下で行われるため、緊急時、あるいは多岐にわたる口腔の問題に対応できるように、他職種との連携をはかることが重要である。</p> <p>a × ケアマネジャーと連絡を取ったうえで、その後必要であれば家族との連絡をとる。</p> <p>b × 食形態の変更は、危険性のある場合を除き、他職種との連携をはかりながら慎重に進める。</p> <p>c ○</p> <p>d × 歯科治療終了後には、介護サービスの提供者に必要な情報を提供した上で、居宅療養管理指導としての口腔清浄の提供を行う。</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本高齢者歯科 115-121 ポイントチェック⑥ 194-195</p> <p>▶ keyword: 介護保険法</p>

問題 B		解答・解説
198	<p>デイサービスセンターから口腔機能向上サービスの提供を依頼された。歯科衛生士の実施する内容でないのはどれか。</p> <p>a 口腔機能の向上の必要性についての教育</p> <p>b 口腔清浄の自立支援</p> <p>c 栄養指導</p> <p>d 摂食・嚥下機能訓練</p>	<p>解答: c</p> <p>介護予防事業での口腔機能プログラムでは、応用症候群による口腔機能低下を生じた高齢者を早期に発見し、早期に対処していく。対処は、対象者のインフォームドチョイス（自己選択）によって、自己目標のもとにすすめられる。サービスの提供者は「歯科衛生士等」と明記されている。</p> <p>a ○</p> <p>b ○ 気道感染（誤嚥性肺炎、インフルエンザなど）の予防にもつながる。</p> <p>c × 管理栄養士等が行う。</p> <p>d ○ 唾液腺マッサージ、「健口体操」などがある。</p> <p>文献: 実践！介護予防口腔機能向上マニュアル（財団法人東京都高齢者研究・福祉振興財団）26-29</p> <p>▶ keyword: 口腔機能向上サービス</p>
199	<p>図は65歳以上の高齢者のいる世帯構成の推移を示す。図からよみ取れる高齢者の生活環境はどれか。2つ選べ。</p> <p>a 高齢者住宅に住む者は、外出の機会が少ない傾向にある。</p> <p>b 一人暮らしや高齢者のみの家庭が増加の傾向にある。</p> <p>c 一世帯の構成人員数が減少する傾向にある。</p> <p>d 介護者が日中就業などの理由で、不在の場合がある。</p>	<p>解答: b、c</p> <p>各選択肢は、近年の在宅介護高齢者の生活環境の特徴を述べたものであるが、図から読み取れるのは世帯の構成に関する環境のみである。</p> <p>a ×</p> <p>b ○</p> <p>c ○</p> <p>d ×</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本高齢者歯科 139</p> <p>▶ keyword: 高齢者の生活環境</p>
200	<p>病状安定期にあり入院治療の必要はないがリハビリテーションや介護・看護を必要とする要介護者を対象とする施設はどれか。</p> <p>a 有料老人ホーム</p> <p>b 特別養護老人ホーム</p> <p>c 介護療養型医療施設</p> <p>d 介護老人保健施設</p>	<p>解答: d</p> <p>高齢者の保健医療福祉に関する法律には、老人保健法・介護保険法・老人福祉法がある。</p> <p>施設サービスは、介護保険法と老人福祉法により行われる。</p> <p>a × 有料老人ホームは、60歳以上で家庭環境、住環境などの理由により、居宅において生活することが困難な高齢者が低額な料金で入所し、生活する施設。</p> <p>b × 特別養護老人ホームは、65歳以上で、常時介護が必要で、在宅生活が困難な要介護者を対象とする施設。</p> <p>c × 介護療養型医療施設は、病状が安定している長期療養者であって、常時医学的管理が必要な要介護者を対象とする施設。</p> <p>d ○</p> <p>文献: 最新歯科衛生士教本高齢者歯科 119-121 歯科保健指導 96、252-253</p> <p>▶ keyword: 介護老人保健施設</p>